

2 日常生活

(1) <入所・入院問9> 日中の過ごし方

問. あなたは普段、日中をどのように過ごしていますか。
最もあてはまるもの1つに○をしてください。

【概要】

「入所している施設（病院）で、作業や訓練をしている」が47.4%、「入所している施設（病院）で看護や介護を受けて過ごしている」が38.5%で、この2項目が多くなっている。

(図表2-1-1)

【障害者手帳種別】

身体障害は「看護や介護を受けて」、知的障害、精神障害は「作業や訓練をして」過ごす割合が高い。(図表2-1-3)

【年代・加齢】

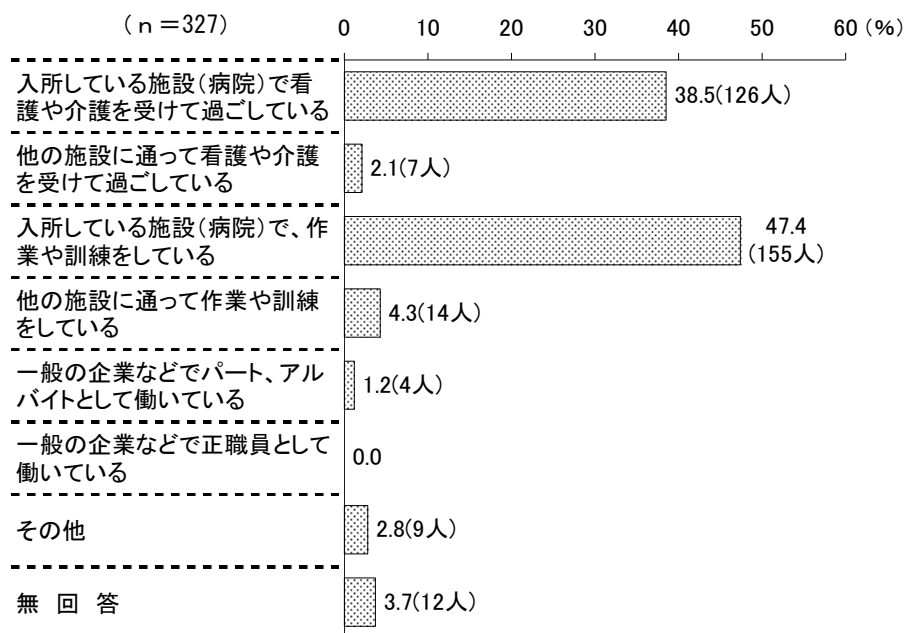
40代・50代では、作業や訓練中心の生活をしている人の割合の方が多いが、60歳以上では、介護や看護中心の生活をしている人の割合の方が多い。(図表2-1-2)

【その他】

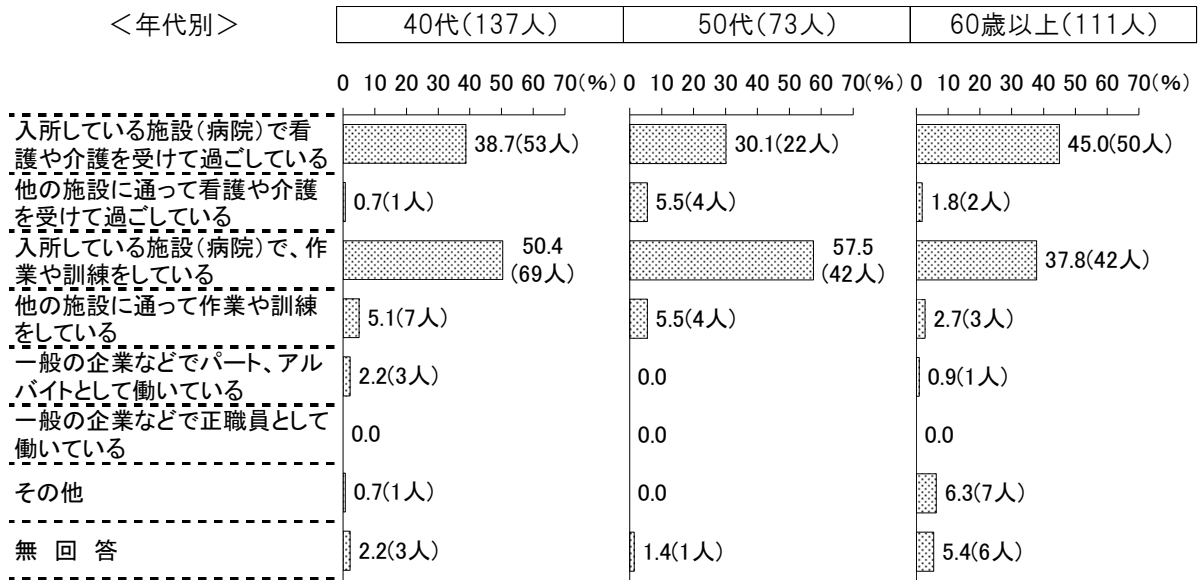
発達障害では、作業や訓練中心の生活をしている人が69.6%と多くなっている。

(図表2-1-4)

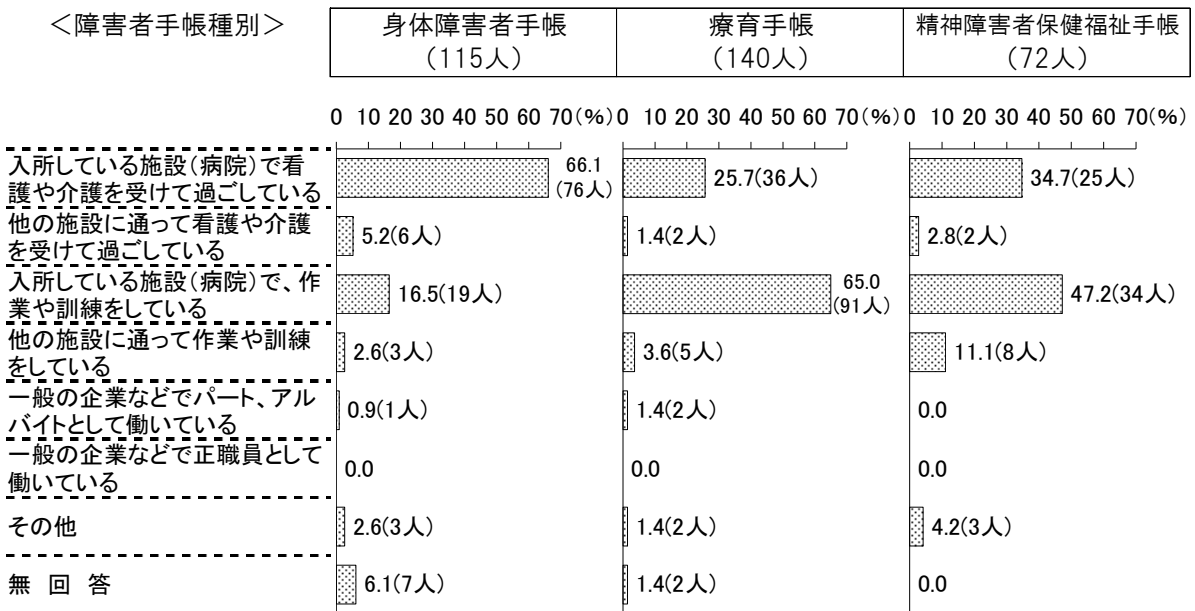
図表2-1-1



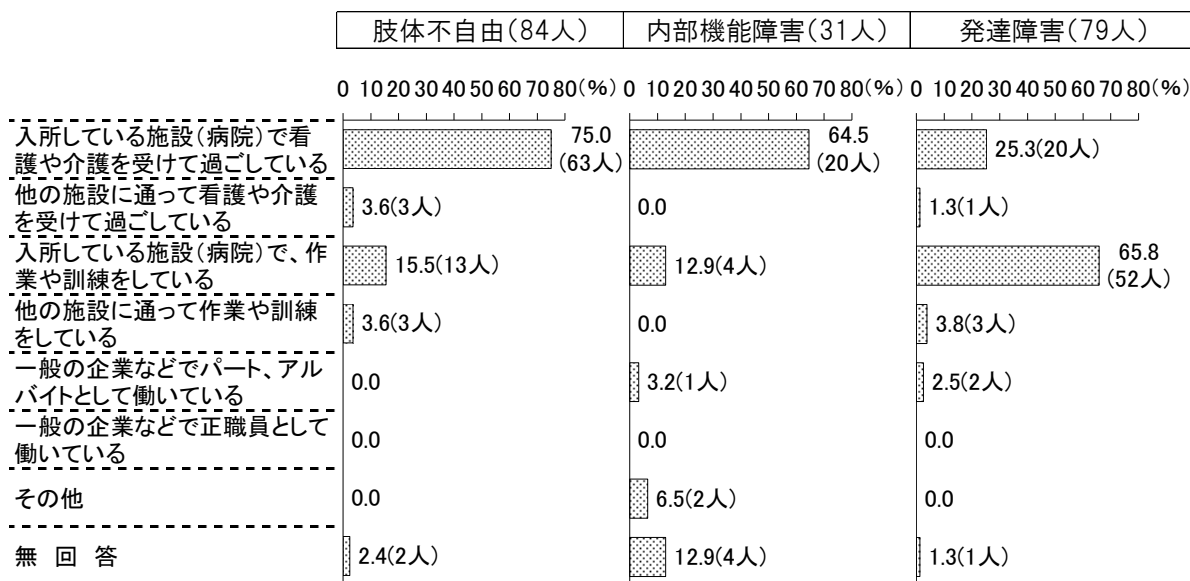
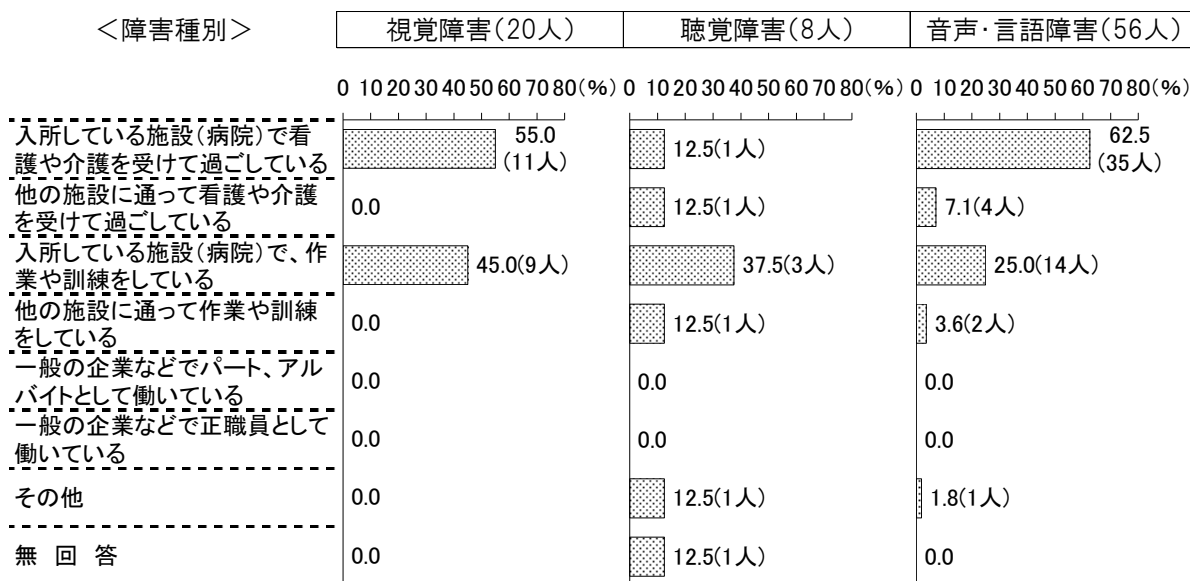
図表 2-1-2 <入所・入院> 日中の過ごし方—年代別



図表 2-1-3 <入所・入院> 日中の過ごし方—障害者手帳種別



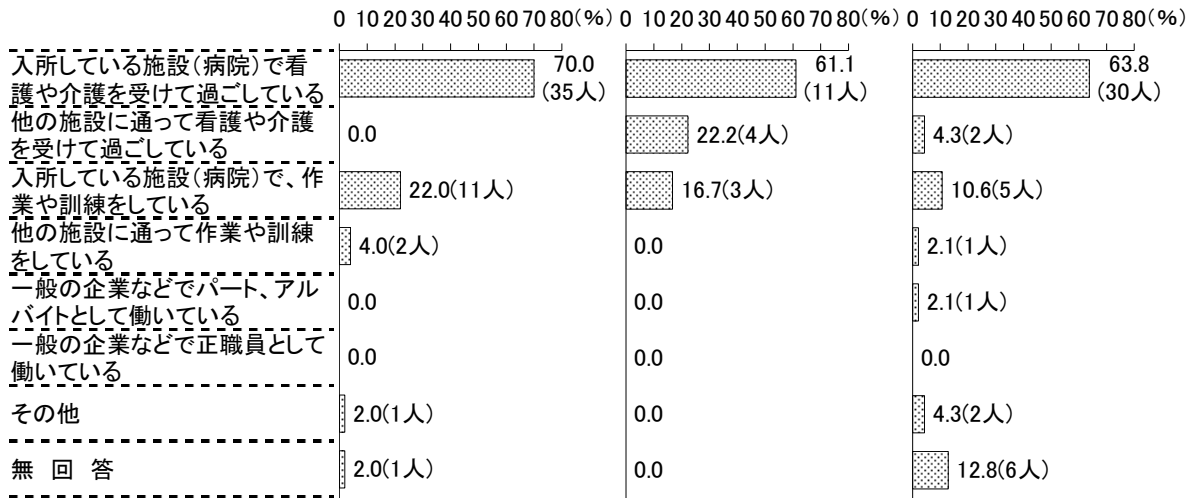
図表 2-1-4 <入所・入院>日中の過ごし方－障害種別



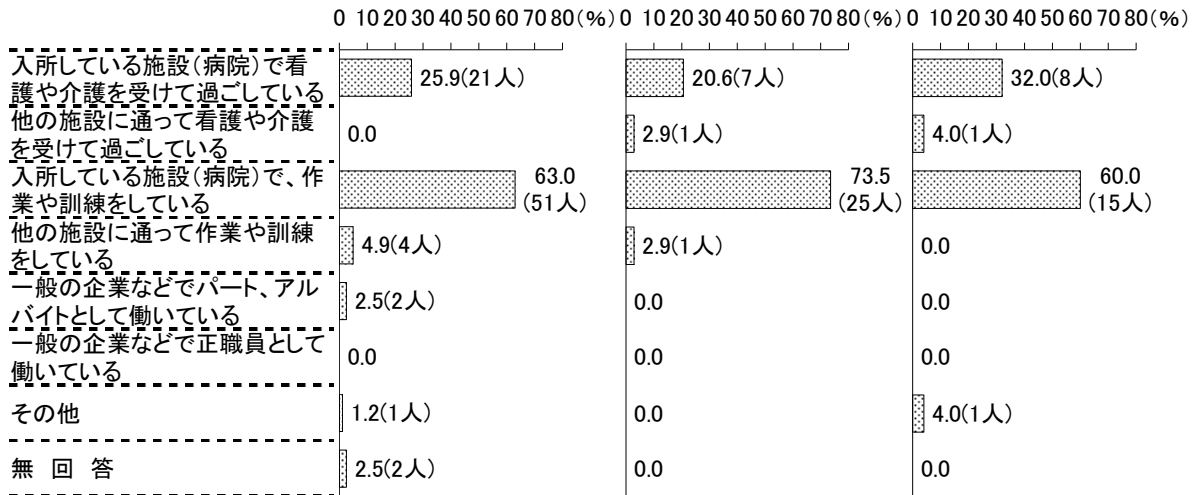
図表 2-1-5 <入所・入院>日中の過ごし方—障害者手帳種別・年代別

<障害者手帳種別・年代別>

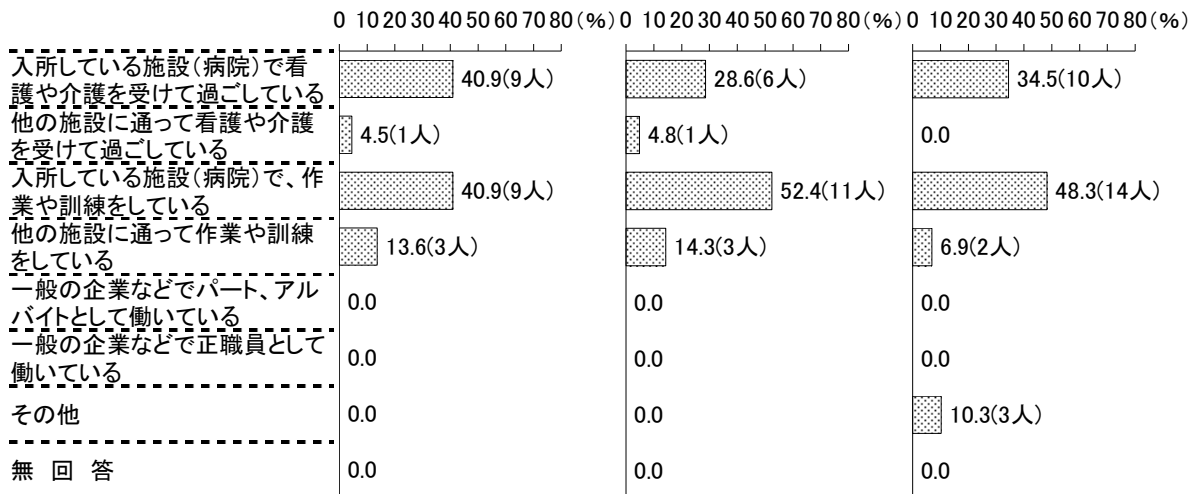
身体障害者手帳を持つ人		
40代(50人)	50代(18人)	60歳以上(47人)



療育手帳を持つ人		
40代(81人)	50代(34人)	60歳以上(25人)



精神障害者保健福祉手帳を持つ人		
40代(22人)	50代(21人)	60歳以上(29人)



(2) <在宅問10> 趣味・スポーツ・社会活動などへの参加状況

問. この1年間に、趣味やスポーツ、社会活動などの活動をしましたか。
 あてはまるものすべてに○をしてください。(通所先での行事を含む。)

【概要】

「映画、スポーツなどの鑑賞（テレビ鑑賞含む）」が60.0%で最も多く、次いで「スポーツやレクリエーション」（44.4%）、「障害者団体などの活動」（38.6%）、「趣味のサークル活動」（30.7%）などの順となっている。（図表2-2-1）

【障害者手帳種別】

どの障害においても「映画、スポーツなどの観賞」の割合が高いが、身体障害では「障害者団体などの活動」（48.3%）、知的障害・精神障害では「スポーツやレクリエーション」（知的55.8%・精神49.2%）が次いで高い。（図表2-2-3）

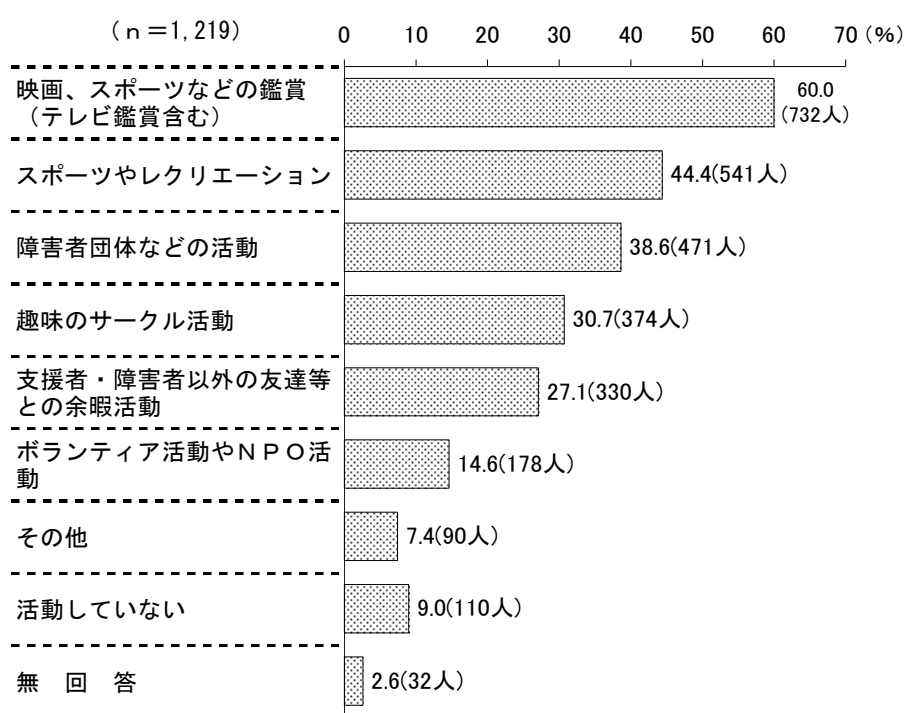
【年代・加齢】

年代が進むにつれ、身体障害では「映画、スポーツなどの観賞」、「スポーツやレクリエーション」の割合が、知的障害、精神障害では「障害者団体などの活動」の割合が低くなるが、一方で、身体障害では「障害者団体などの活動」、精神障害では「スポーツやレクリエーション」の割合が高くなる。（図表2-2-6～図表2-2-7）

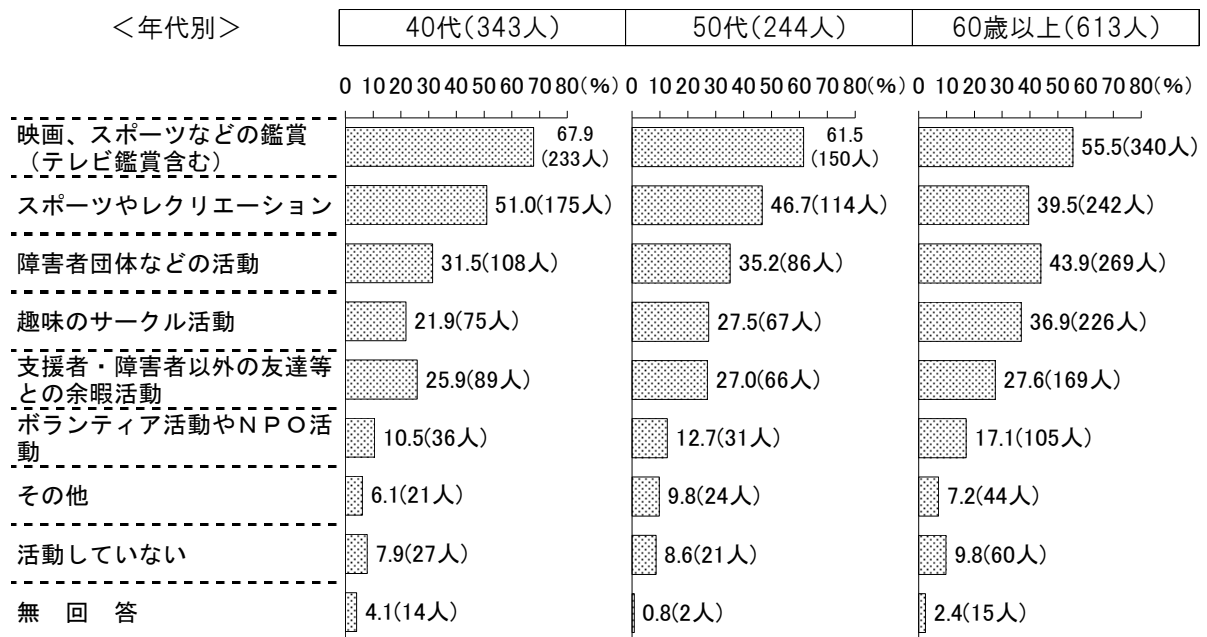
【その他】 聴覚障害では、「障害者団体などの活動」が72.9%と多くなっている。

（図表2-2-4）

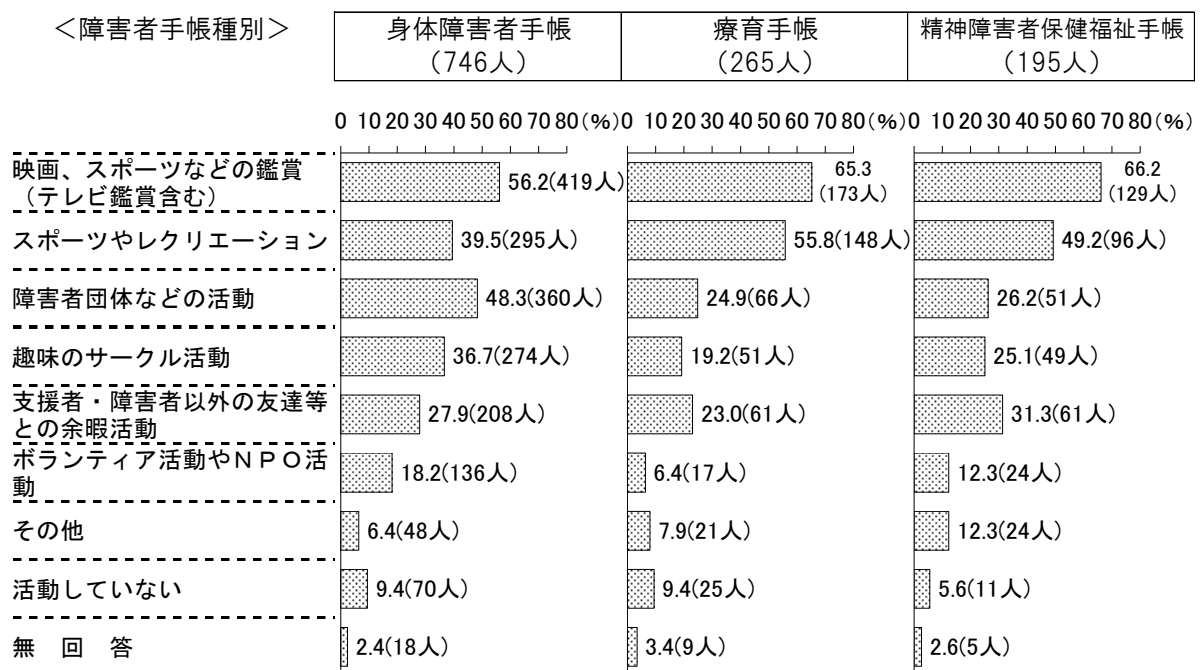
図表2-2-1



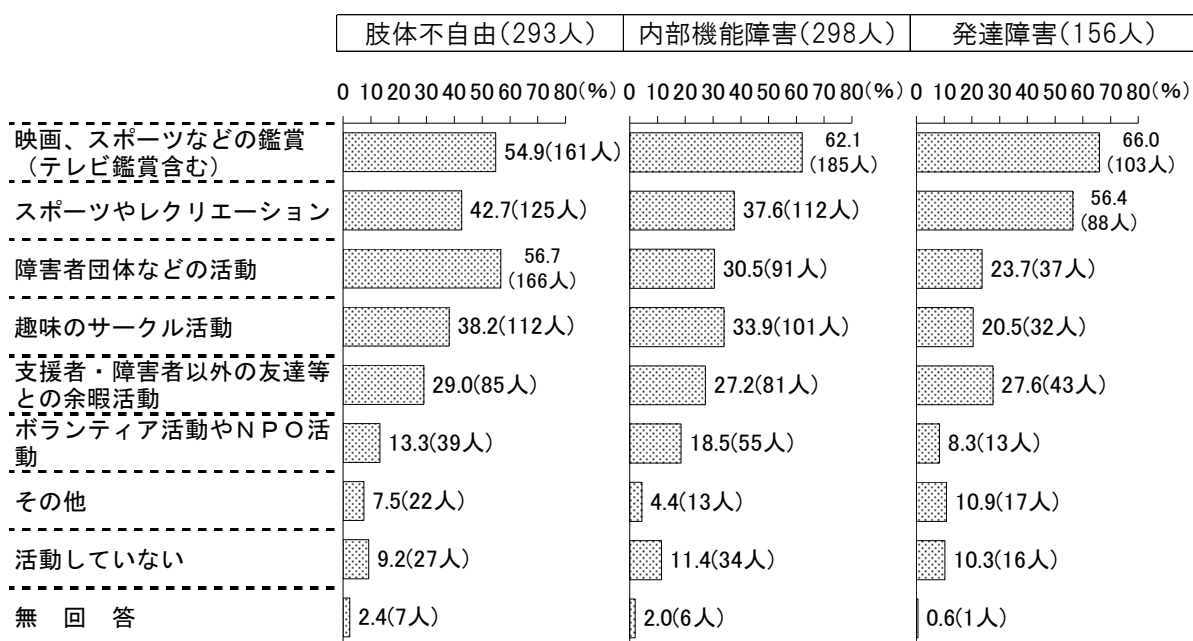
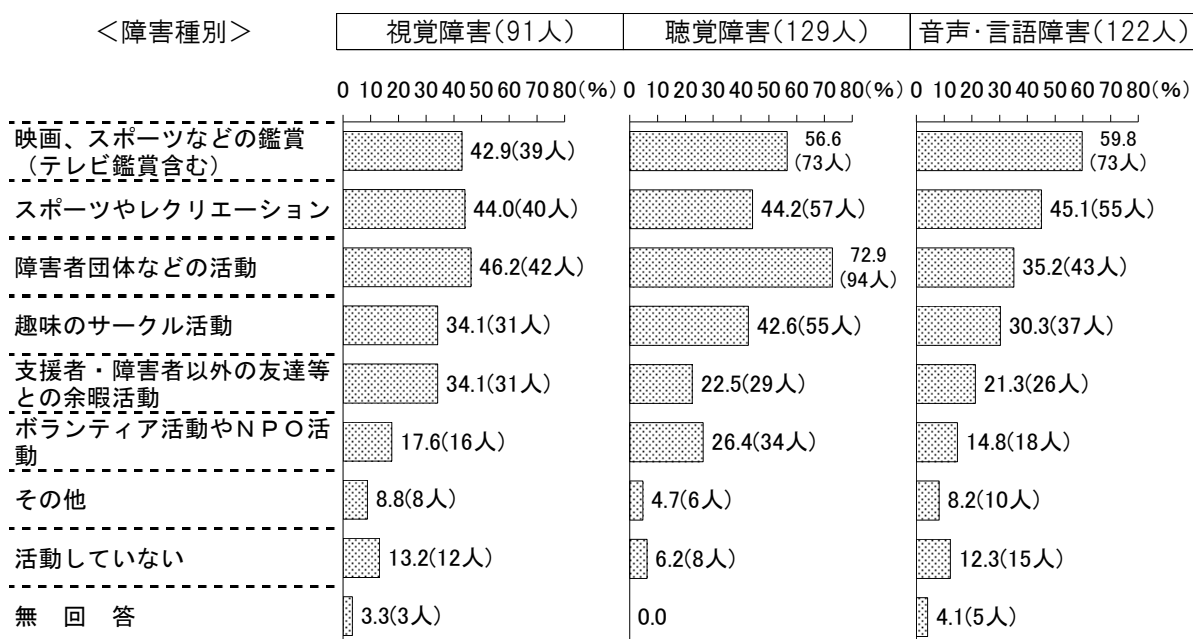
図表 2-2-2 <在宅>趣味・スポーツ・社会活動などへの参加状況一年代別



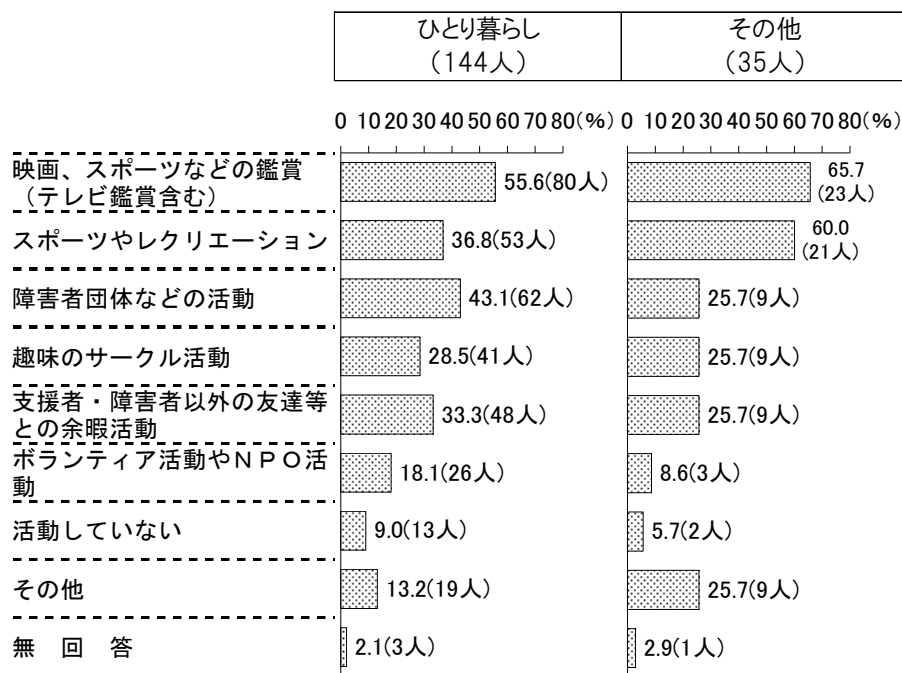
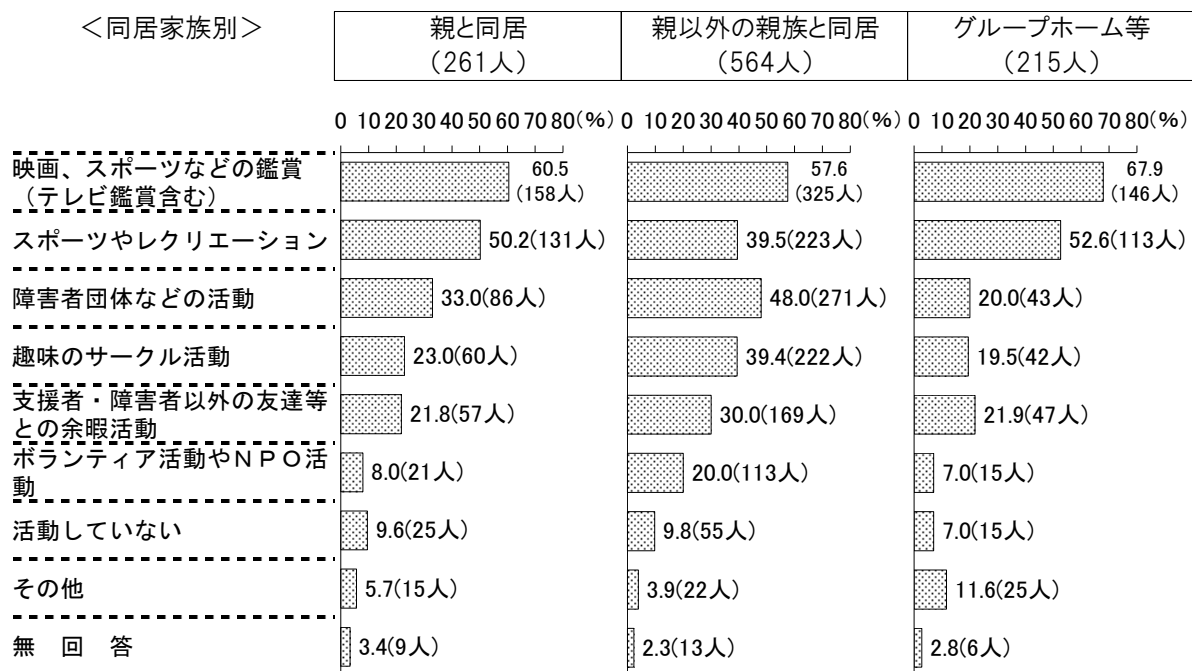
図表 2-2-3 <在宅>趣味・スポーツ・社会活動などへの参加状況—障害者手帳種別



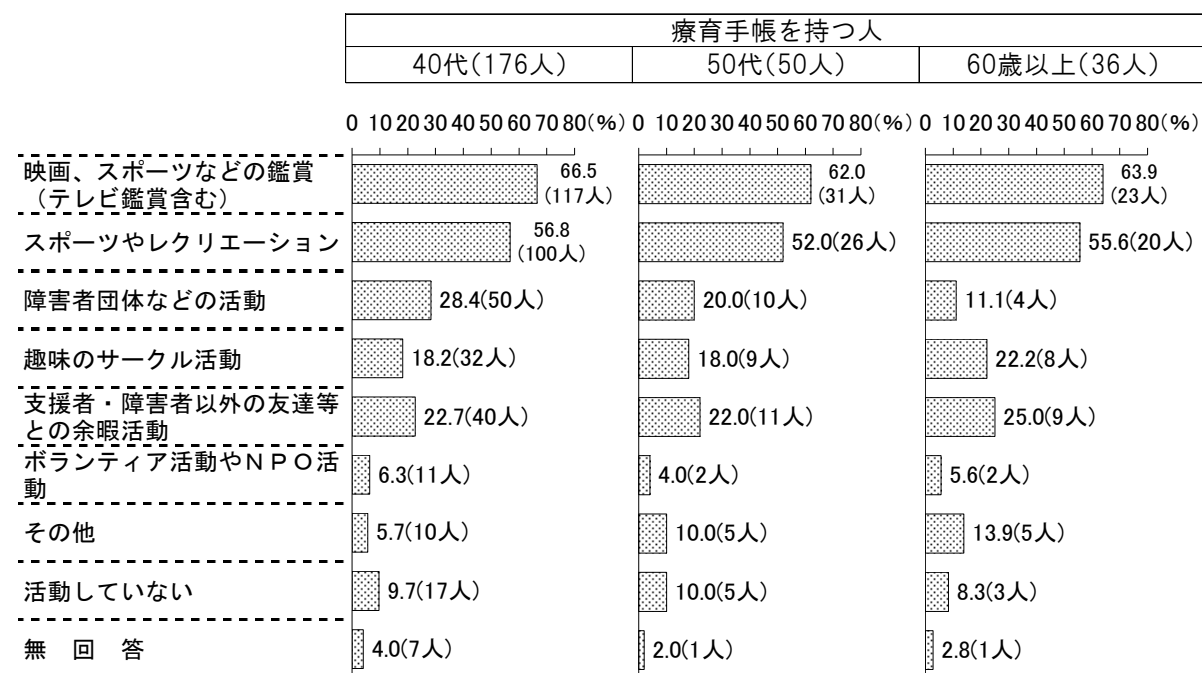
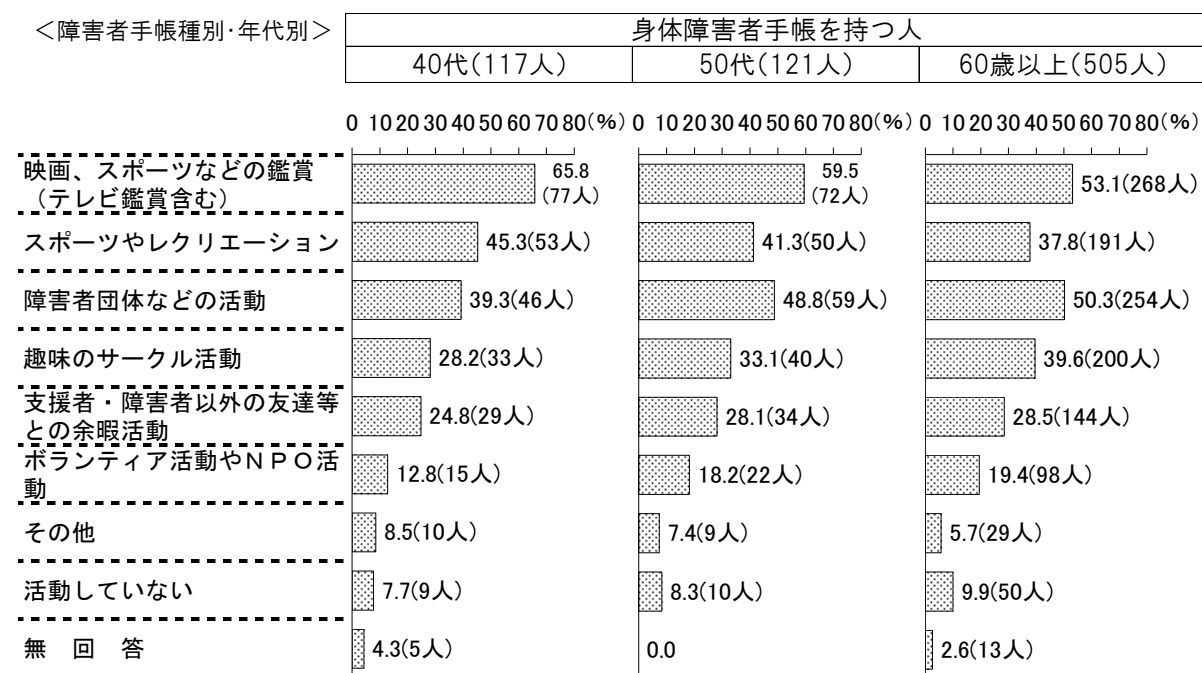
図表 2-2-4 <在宅>趣味・スポーツ・社会活動などへの参加状況—障害種別



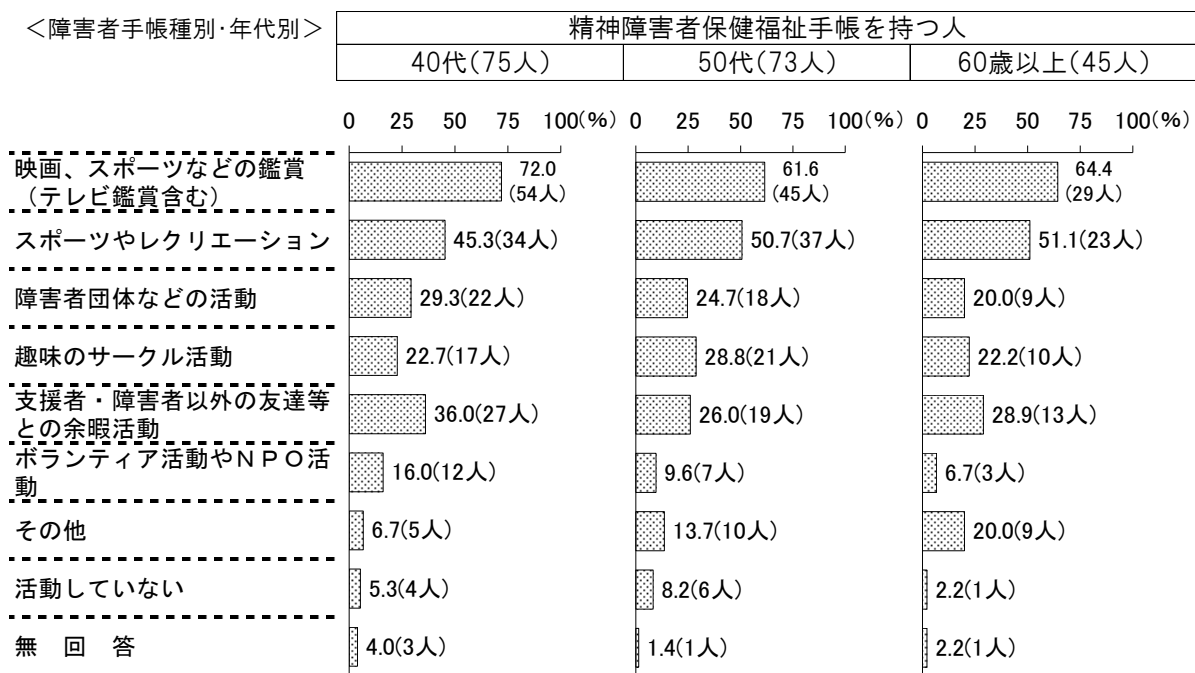
図表 2-2-5 <在宅>趣味・スポーツ・社会活動などへの参加状況—同居家族別



図表 2-2-6 <在宅>趣味・スポーツ・社会活動などへの参加状況－障害者手帳種別・年代別



図表 2-2-7 <在宅>趣味・スポーツ・社会活動などへの参加状況—障害者手帳種別・年代別(つづき)



(3) <入所・入院問10> 日常生活で困っていること

問. 日常生活を送る上で、困っていることはありますか。
あてはまるものすべてに○をしてください。

【概要】

「健康状態に不安がある」(35.2%)と「将来の生活に不安を感じる」(34.6%)の2項目が3割半ばで多く、次いで「外出の機会が少ない」(27.5%)、「家族や友人とあまり会えない」(22.0%)などの順となっている。(図表2-3-1)

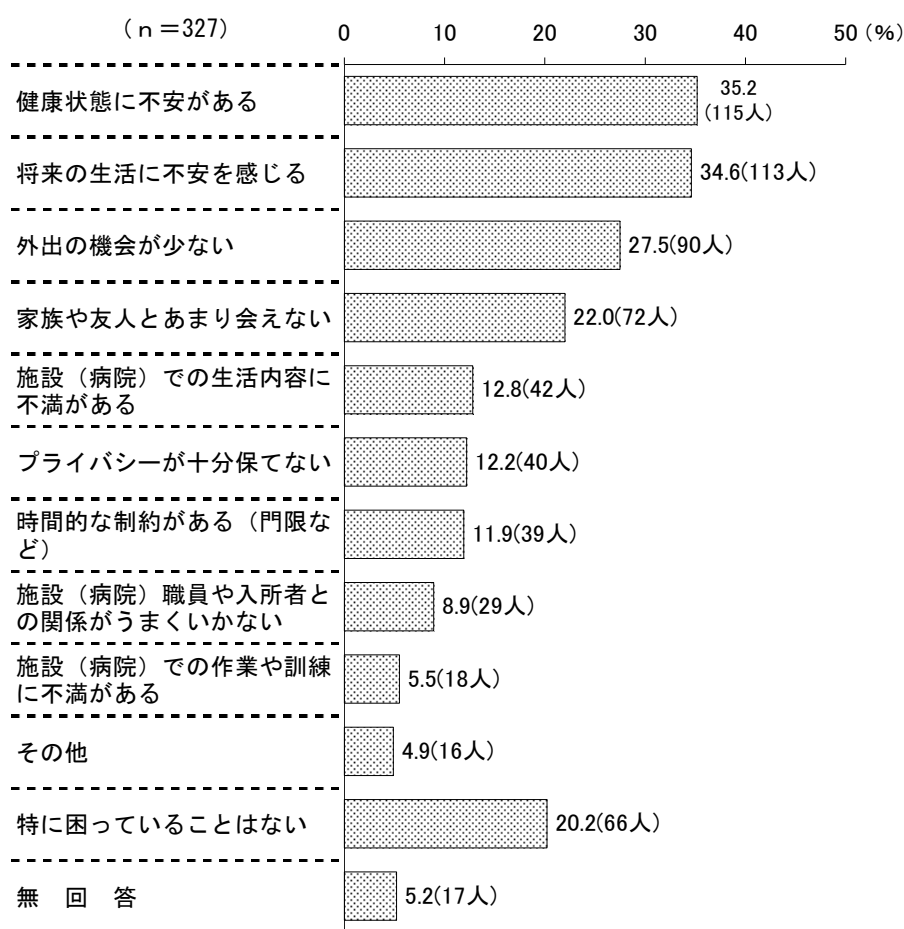
【障害者手帳種別】

身体障害では「健康状態に不安がある」(40.0%)が多く、知的障害では「外出の機会が少ない」(32.9%)が多い。精神障害では「健康状態に不安がある」(45.8%)が多いが、他の障害と比べて「将来の生活に不安を感じる」(44.4%)の割合が高い。(図表2-3-3)

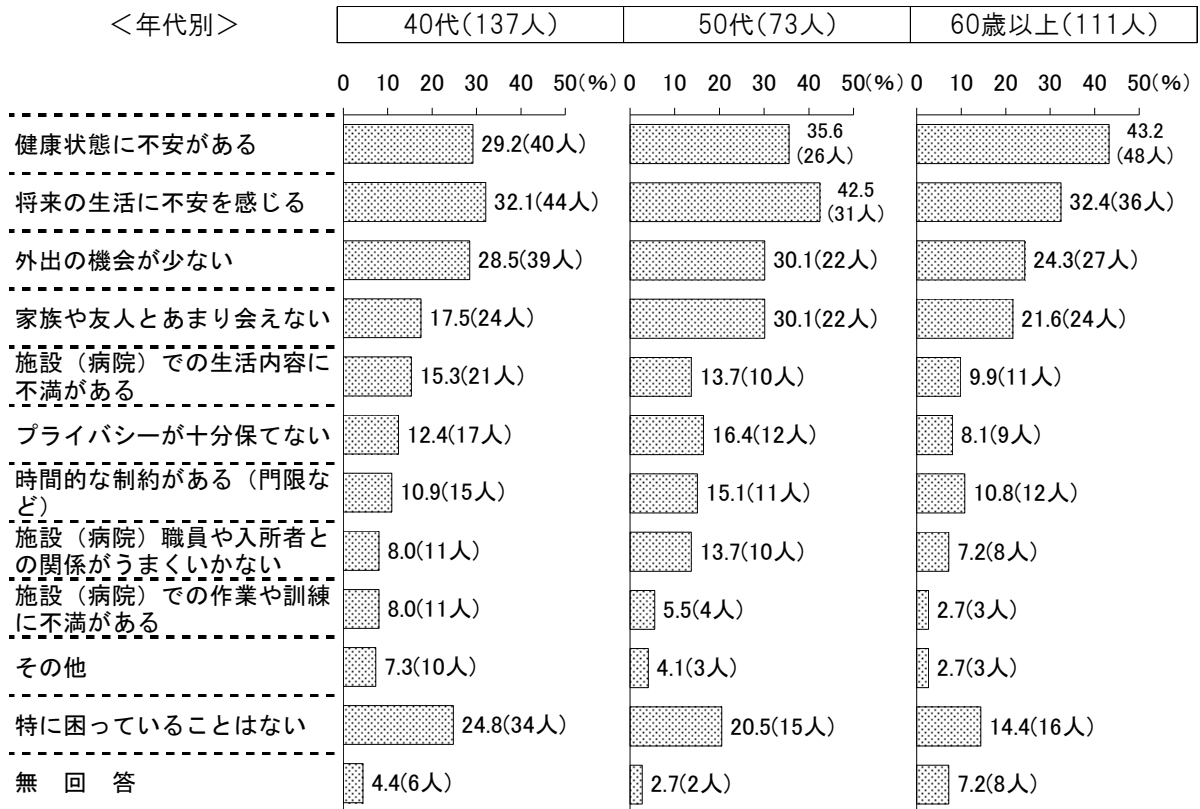
【年代・加齢】

年代が進むにつれ、「健康状態に不安がある」の割合が高くなる。(図表2-3-2)

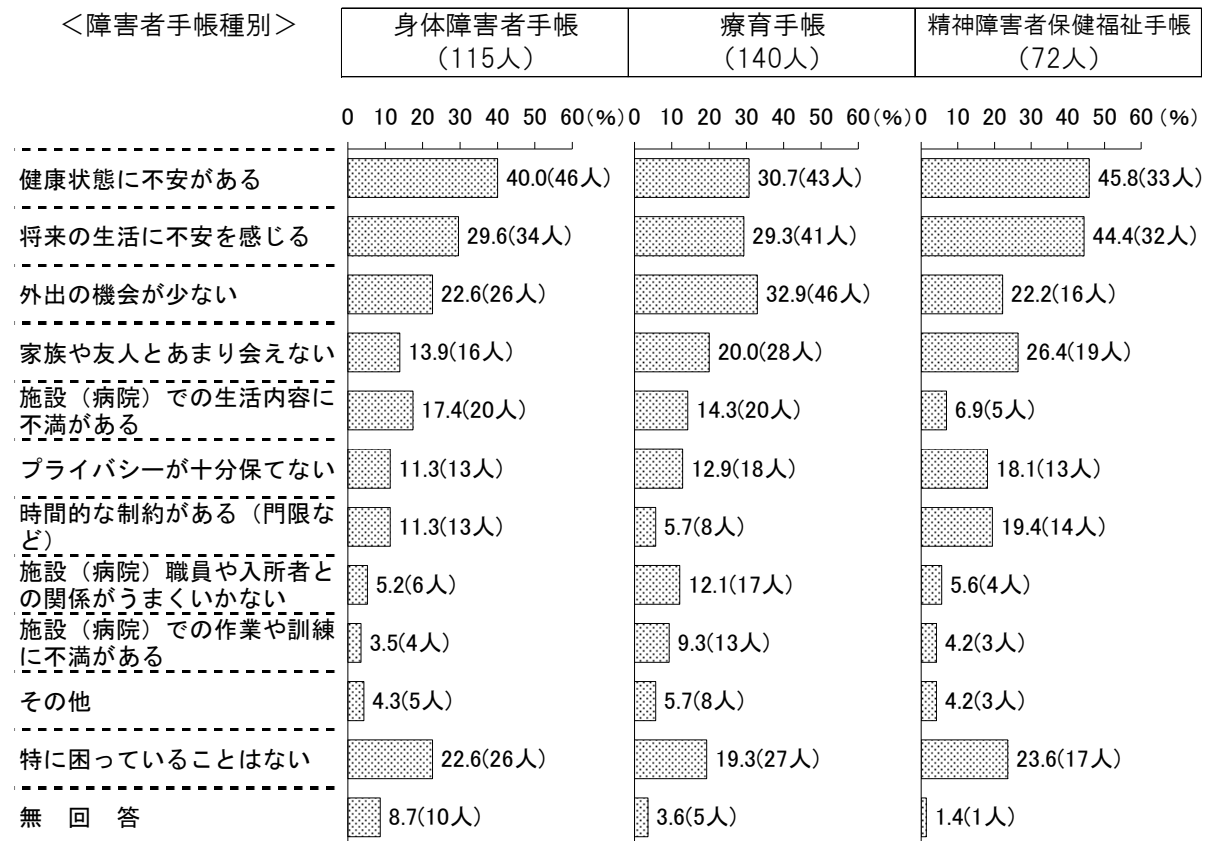
図表2-3-1



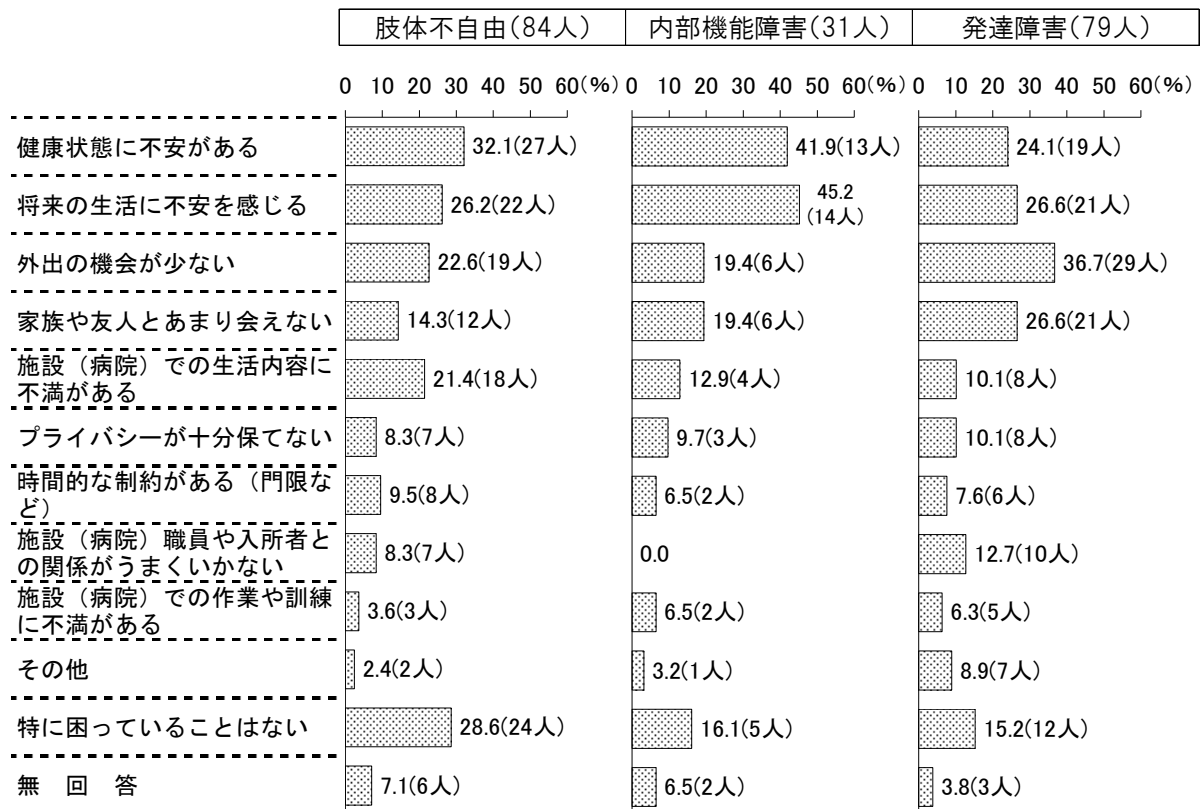
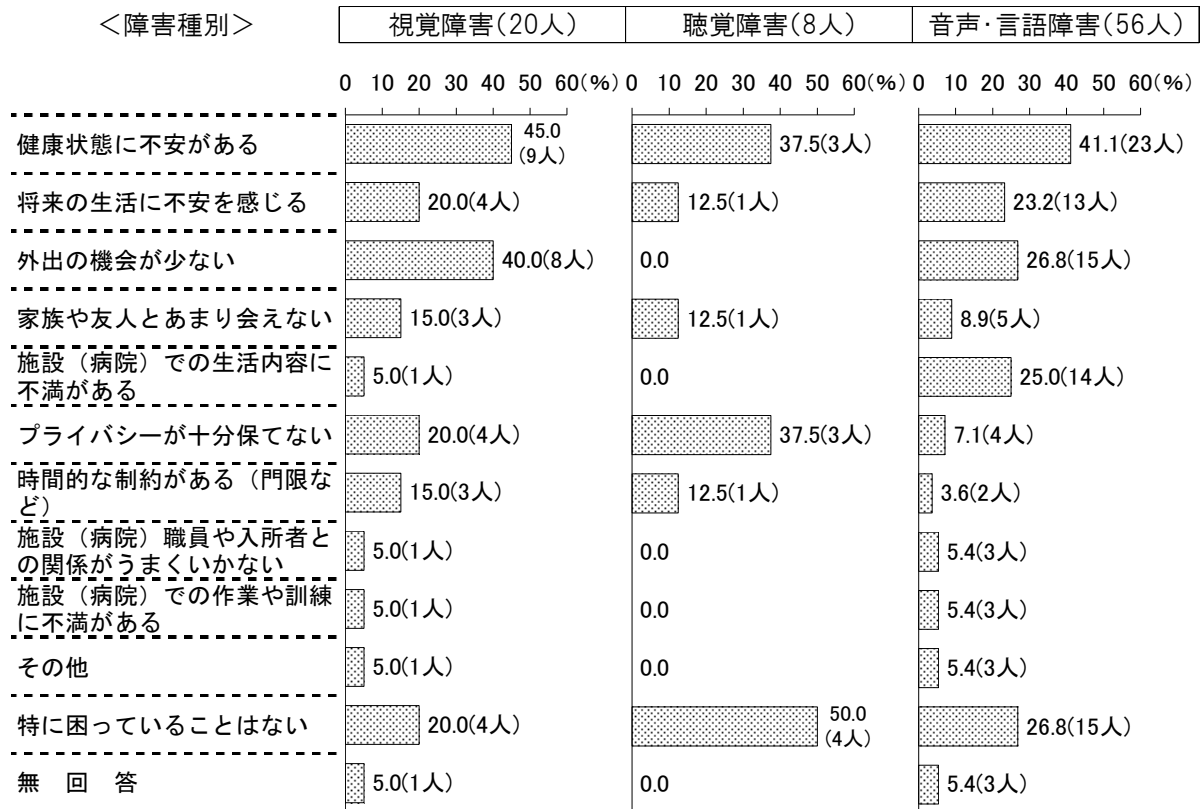
図表 2-3-2 <入所・入院> 日常生活で困っていること一年代別



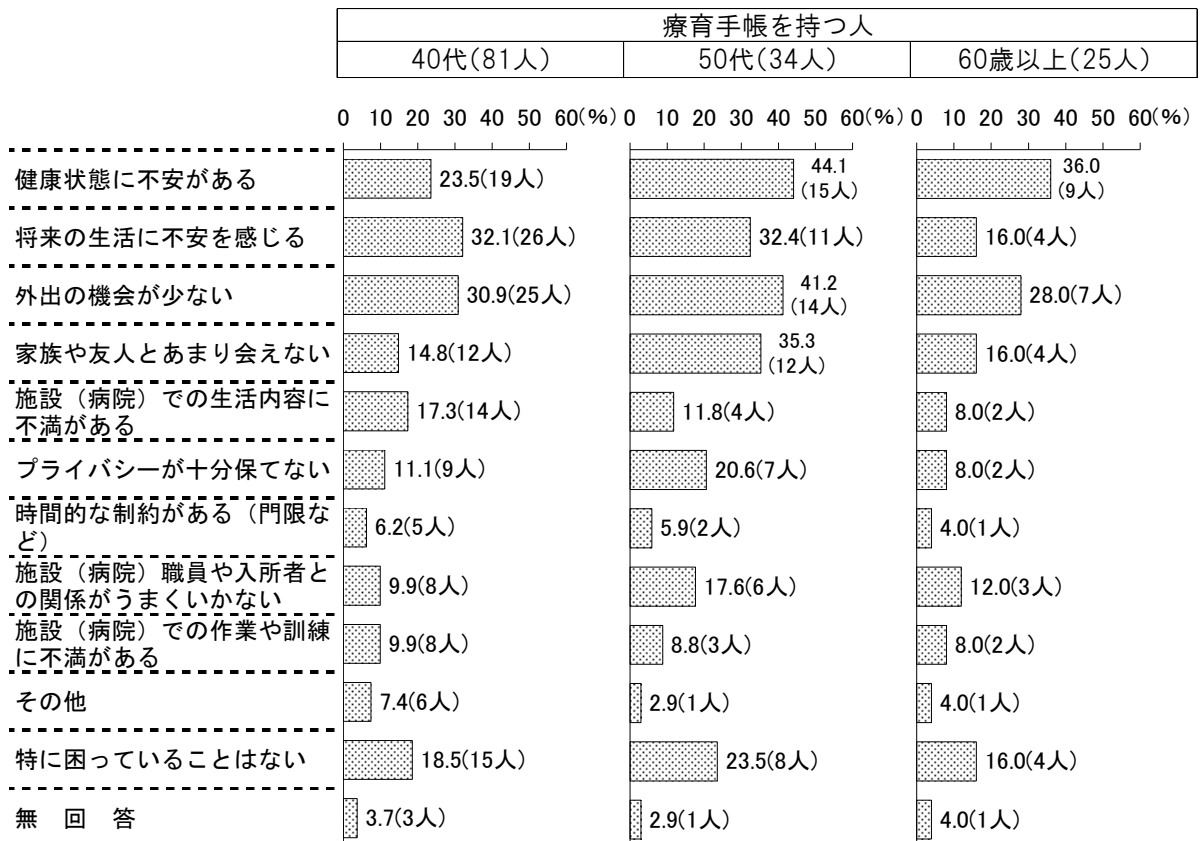
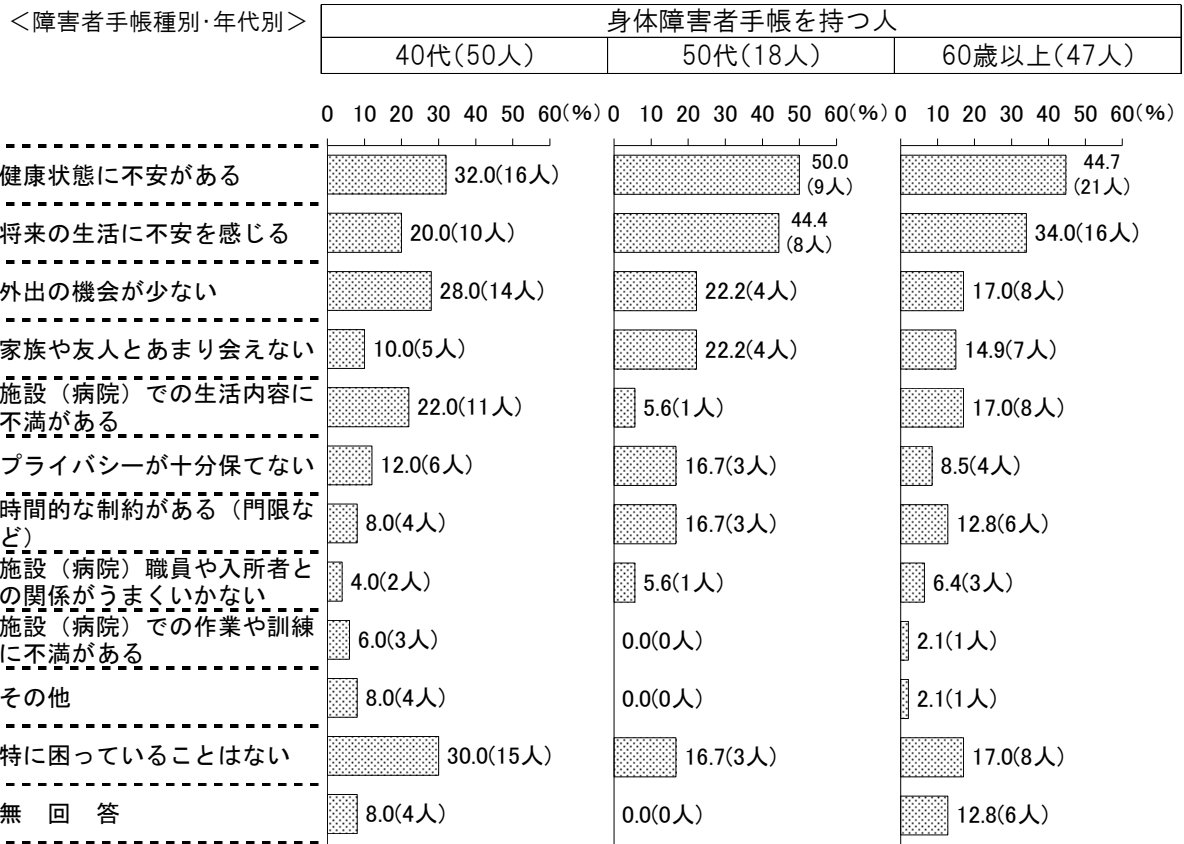
図表 2-3-3 <入所・入院> 日常生活で困っていること一障害者手帳種別



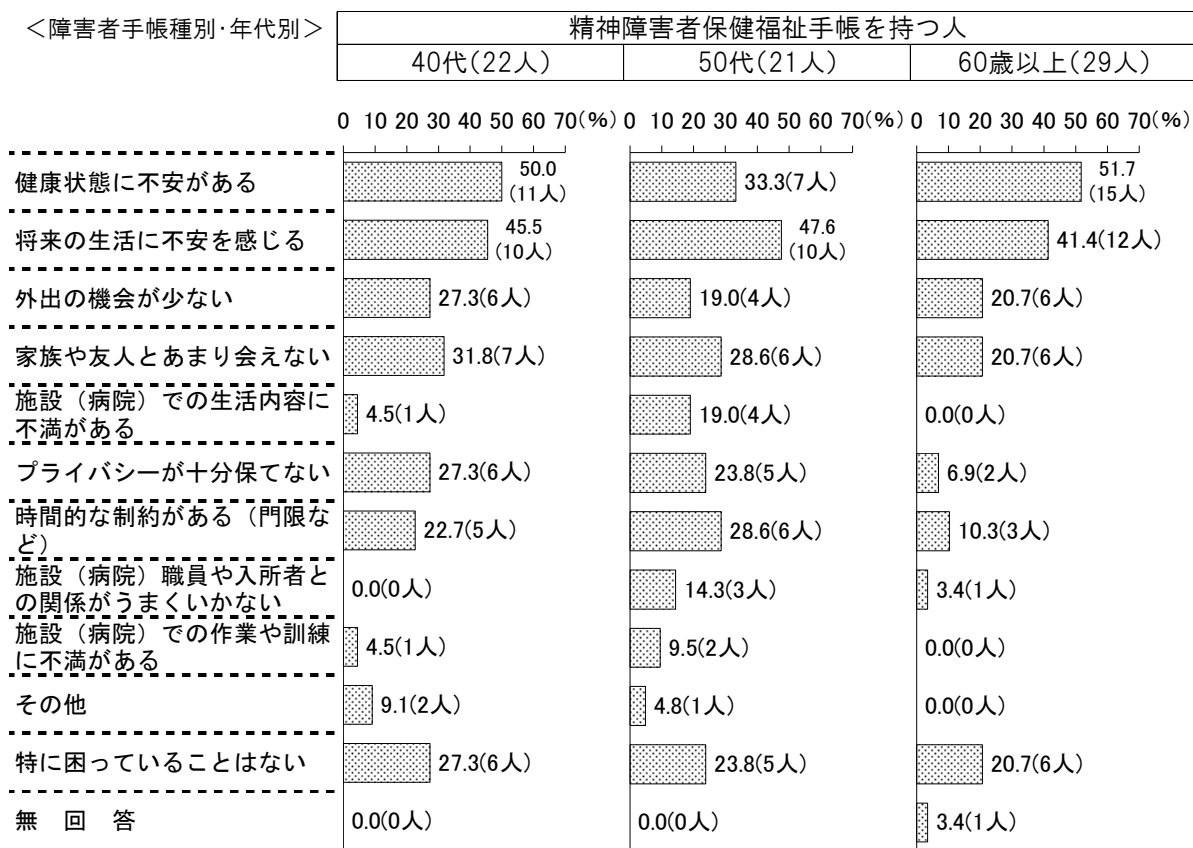
図表 2-3-4 <入所・入院> 日常生活で困っていること—障害種別



図表 2-3-5 <入所・入院>日常生活で困っていること－障害者手帳種別・年代別



図表2-3-6 <入所・入院>日常生活で困っていること－障害者手帳種別・年代別（つづき）



(4) <在宅問11> 現在および過去において日常生活で妨げになっていること

問. 日常生活を送る上で、妨げになっていることはあります（ありました）か。現在及び過去（15歳、25歳、40歳、55歳、65歳の頃）の状況について、次の区分に従い、あてはまるものすべてに記入をしてください。

【概要】

何らかの妨げになっている（なっていた）ことがあるか否かについてみると、現在は、「妨げになっている」が58.5%、「妨げになっていることが一切ない」が40.7%となっている。

「妨げになっていた」の割合は、15歳の頃で25.3%、25歳の頃で28.8%、40歳の頃で36.3%、55歳の頃で24.7%、65歳の頃で20.9%となっている。（図表2-4-1）

現在、妨げになっていることの割合が高い項目は、自分の意思を伝えるのに時間がかかる（34.0%）、相手の言っていること、書かれていることを理解するのに苦労する（32.4%）、近隣とのコミュニケーションが不足していて、災害時などが不安（30.8%）、支援者、障害者以外の友達等がない（25.3%）などの順となっている。（図表2-4-3～図表2-4-5）

【障害者手帳種別】

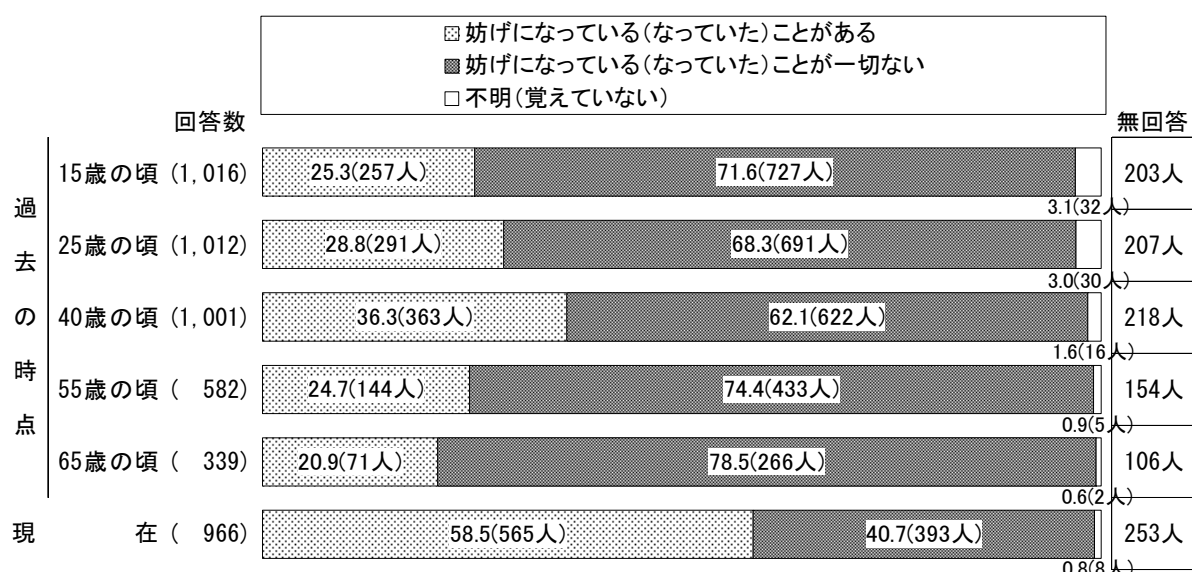
身体障害では他の障害と比べて日常生活での支障の割合が低い。知的障害では全ての項目で身体障害、精神障害よりも割合が高いが、中でも「支援者、障害者以外の友達等がない」「自分の意思を伝えるのに時間がかかる」「相手の言っていること、書かれていることを理解するのに苦労する」の割合が高くなっている。（図表2-4-2、図表2-4-6～図表2-4-12）

【年代・加齢】

身体障害では加齢による変化はあまり見られないが、知的障害では、他の障害に比べて若年期から日常生活での支障の割合が非常に高く、加齢により増加は微増にとどまる傾向にある。精神障害では、加齢による日常生活での支障の増加が顕著である。

（図表2-4-2、図表2-4-6～図表2-4-12）

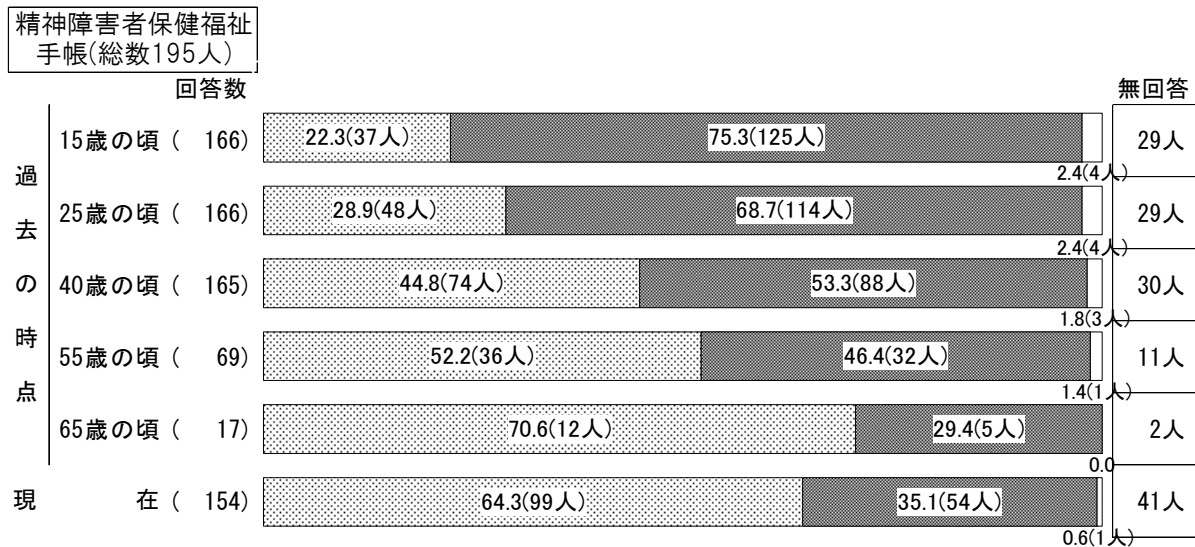
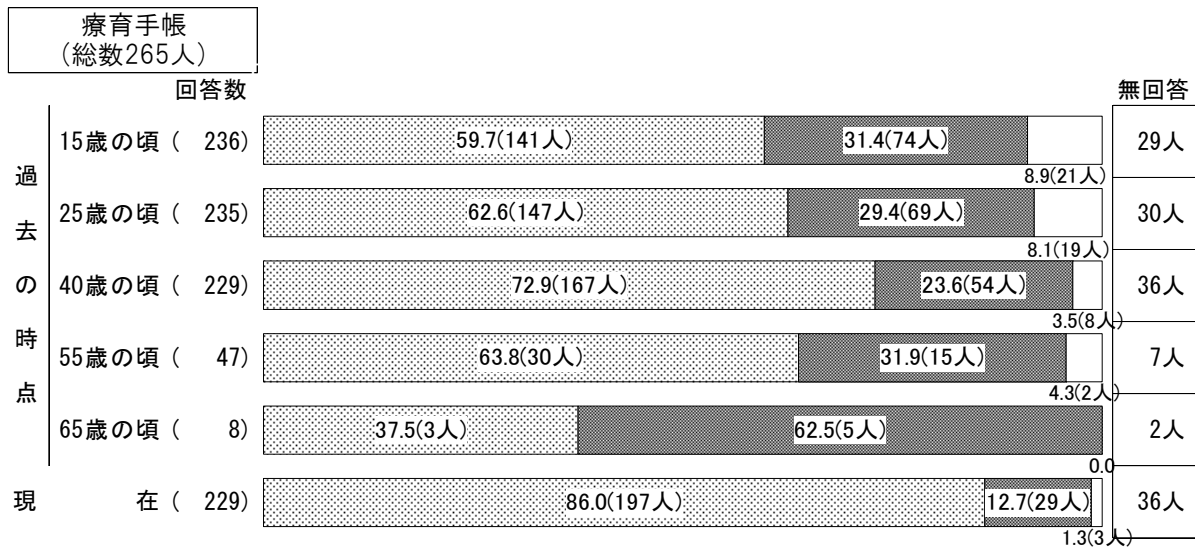
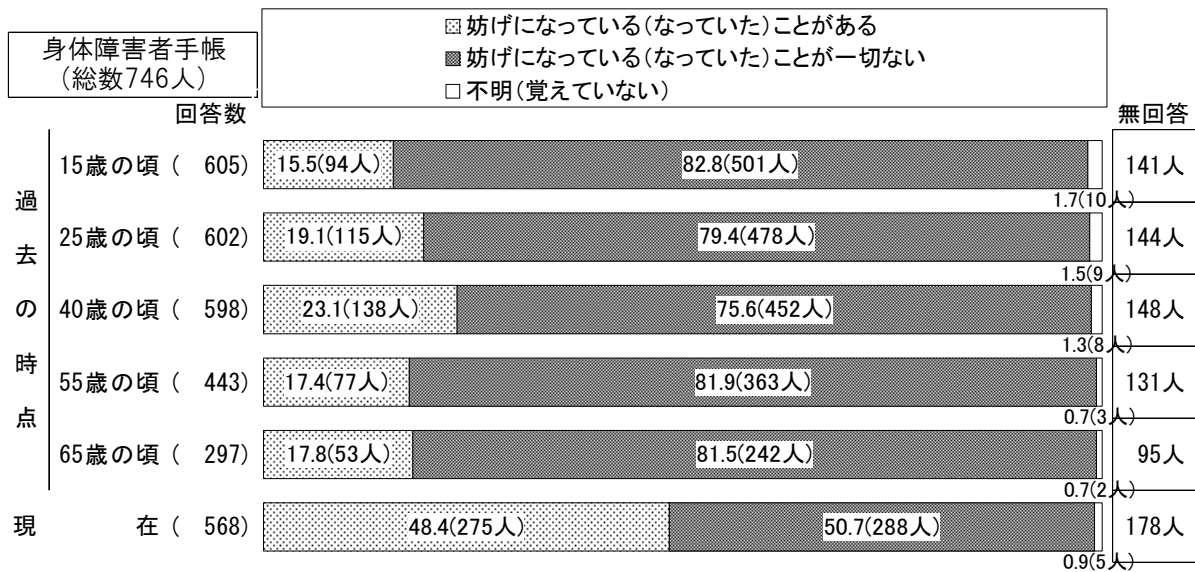
図表2-4-1 現在および過去において日常生活で妨げになっていることの有無



(注1) 傾向を把握しやすくするため、無回答の件数を比率算出の母数から除外した「回答数」を母数とした。

(注2) この項（図表2-4-1～図表2-4-12、62～73ページ）に共通して、54歳以下の人は「55歳の頃」の回答数に含まれない。同様に64歳以下の人は「65歳の頃」の回答数に含まれない。

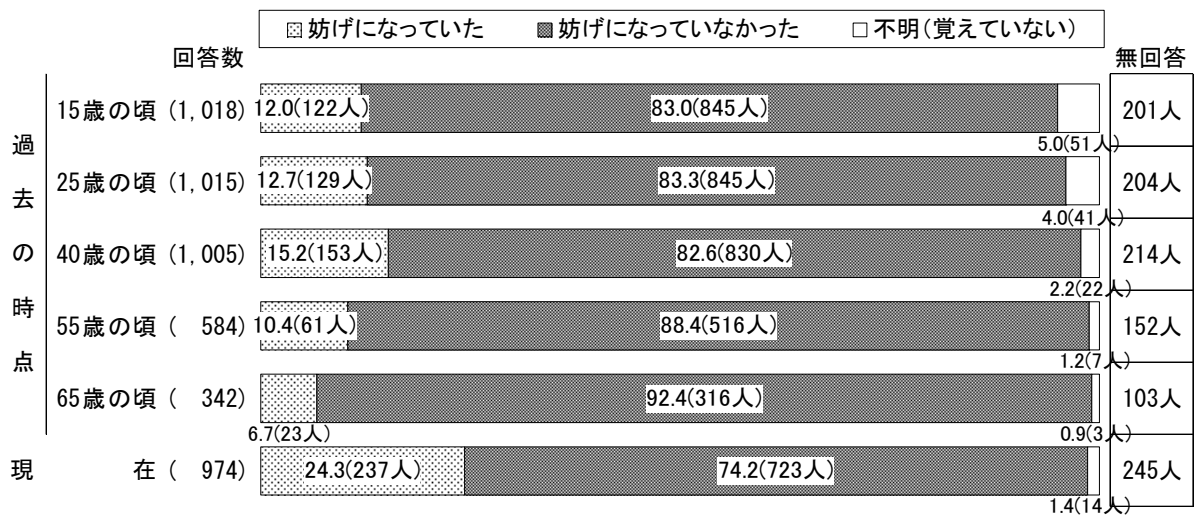
図表 2-4-2 <在宅> 現在および過去において日常生活で妨げになっていることの有無－障害者手帳種別



図表 2-4-3 <在宅>現在および過去において日常生活で妨げになっていること（項目別）

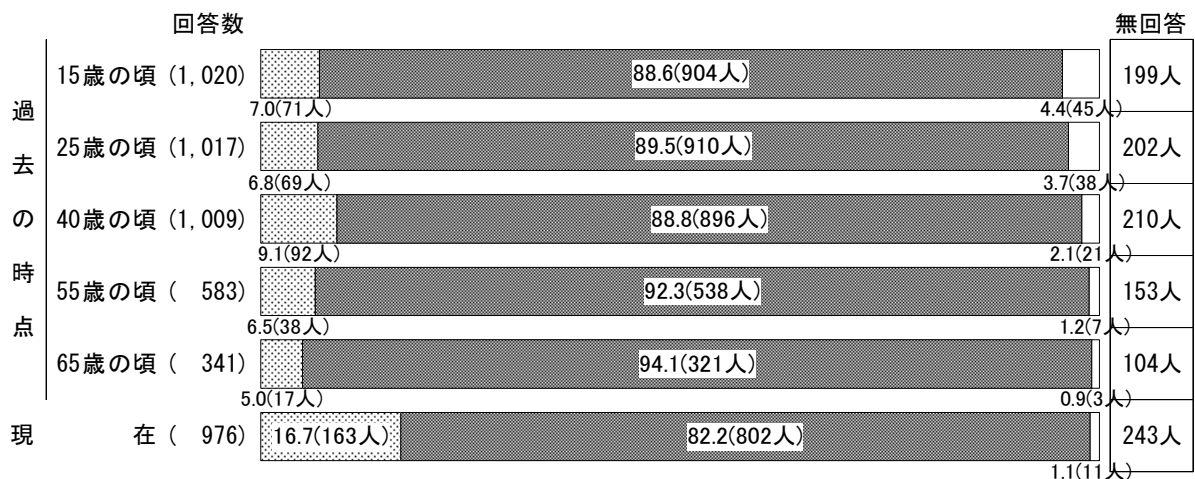
道路や駅などの表示が分からない

（クロス集計は67ページ）



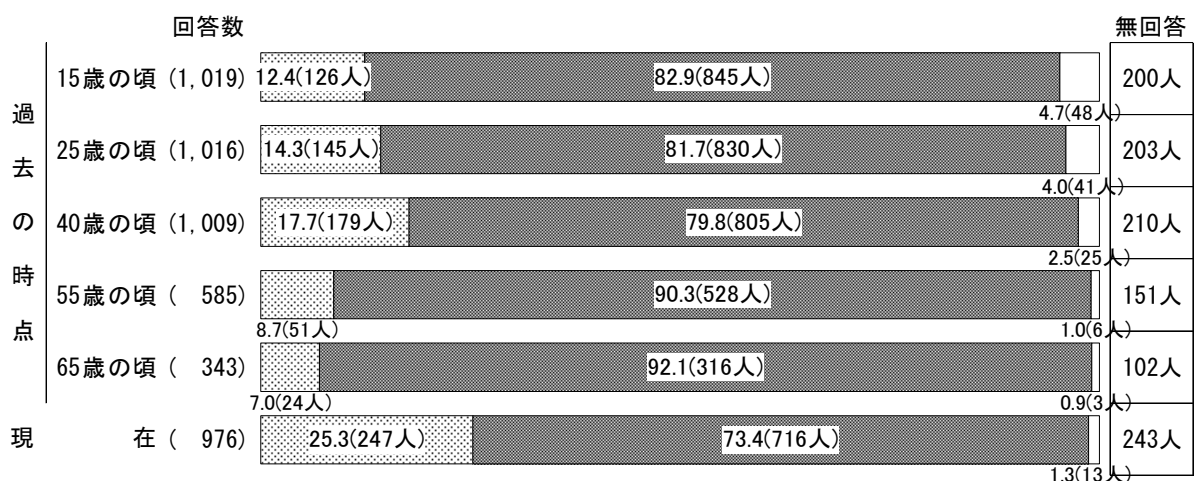
移動する手段（車、公共交通機関など）がない

（クロス集計は68ページ）



支援者、障害者以外の友達等がない

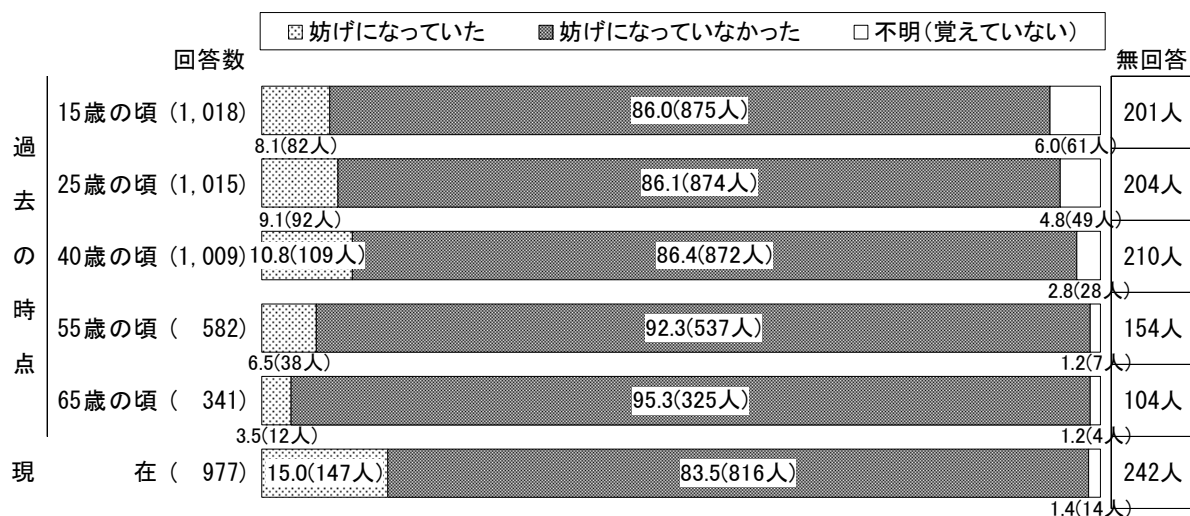
（クロス集計は69ページ）



図表 2-4-4 <在宅>現在および過去において日常生活で妨げになっていること(項目別)(つづき)

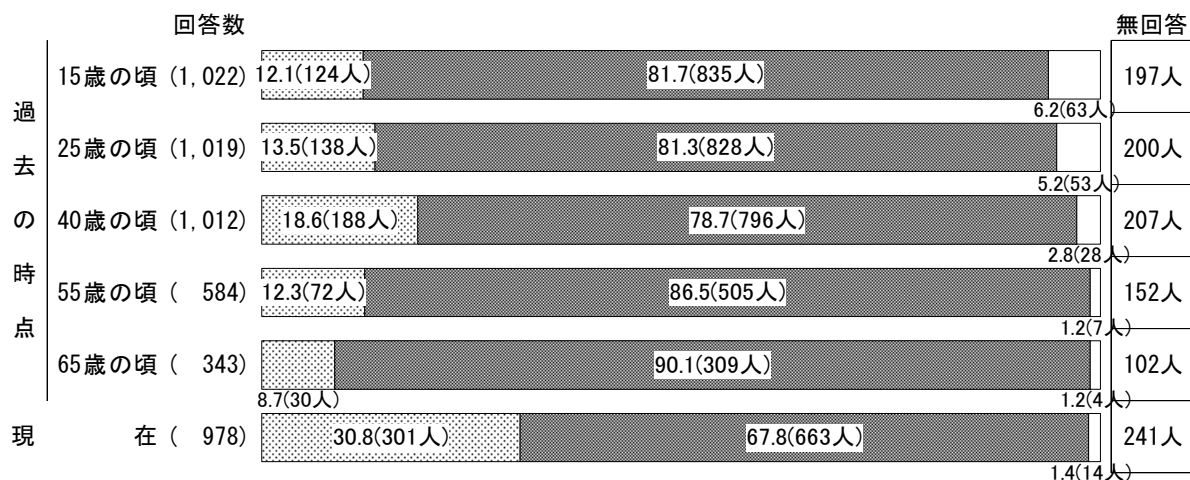
身近な情報(回覧板、チラシなど)が入ってこない

(クロス集計は70ページ)



近隣とのコミュニケーションが不足していて、災害時などが不安

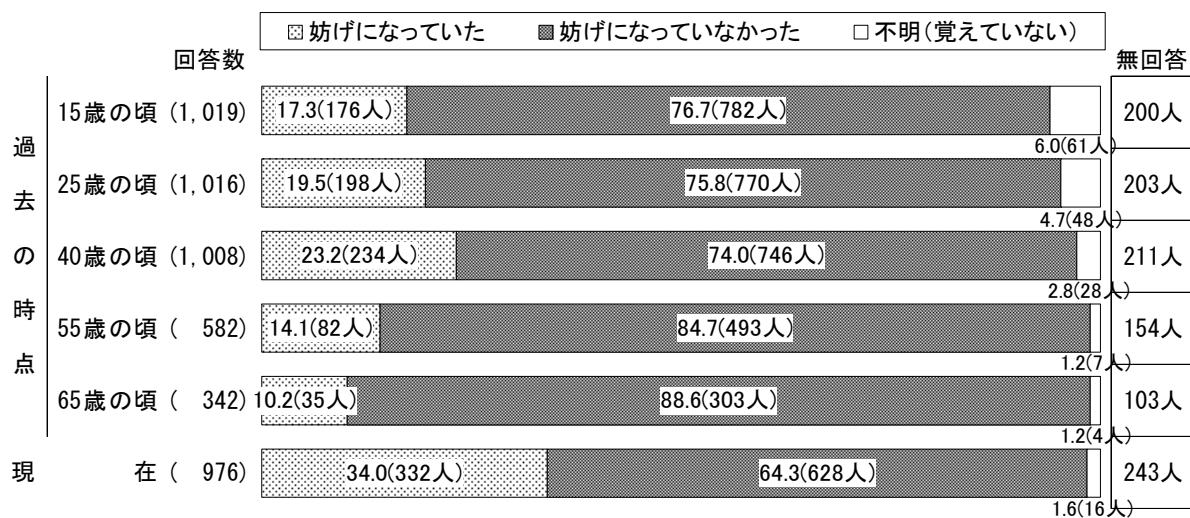
(クロス集計は71ページ)



図表 2-4-5 <在宅>現在および過去において日常生活で妨げになっていること(項目別)(つづき)

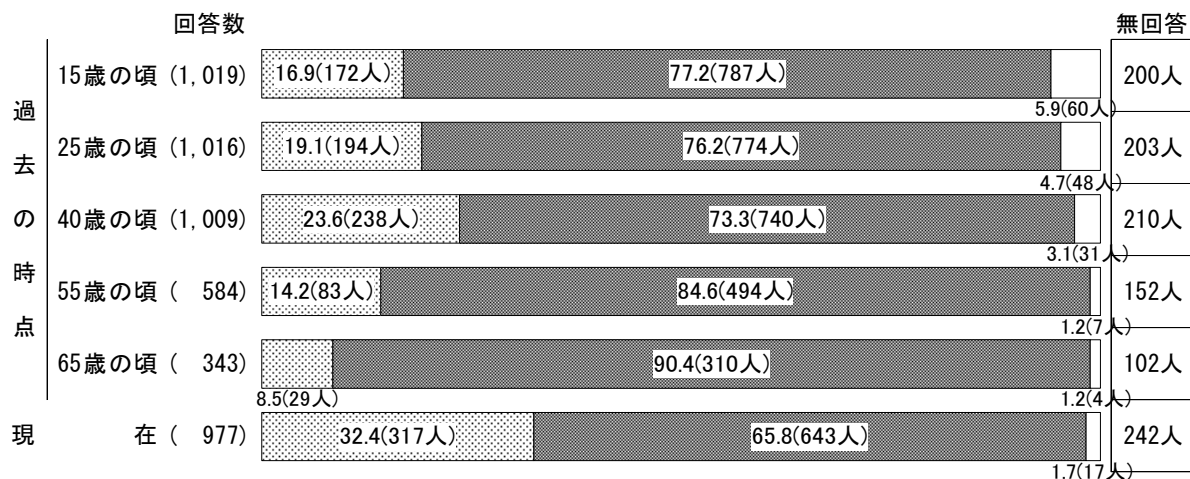
自分の意思を伝えるのに時間がかかる

(クロス集計は72ページ)

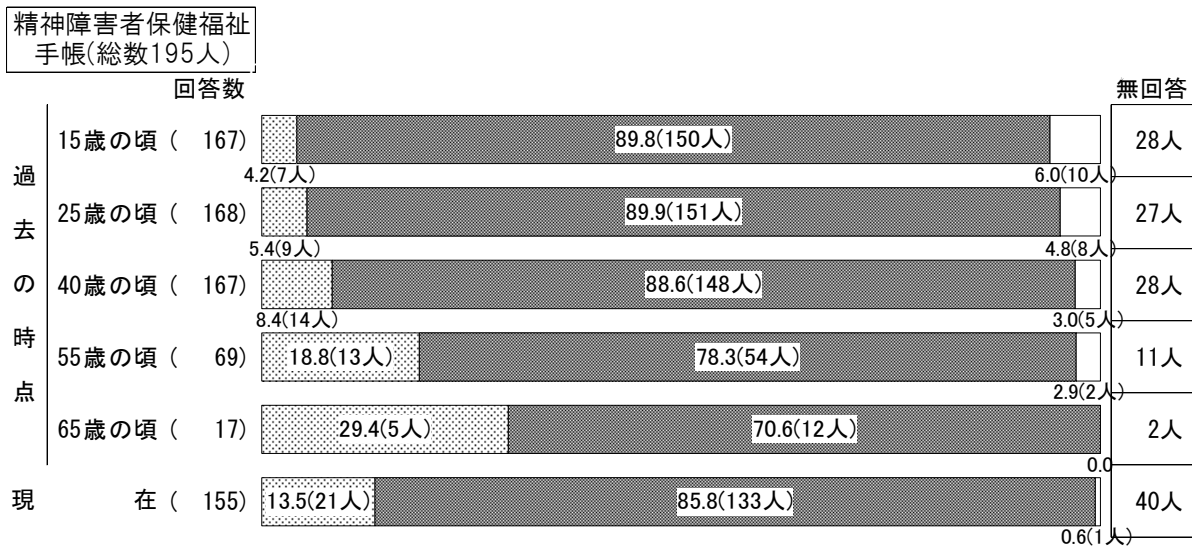
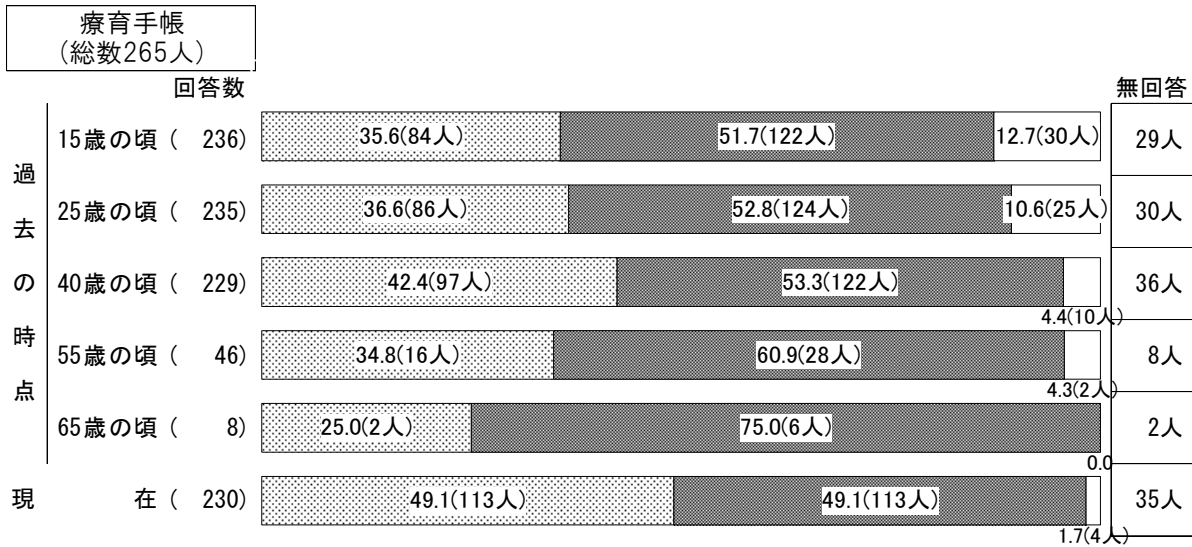
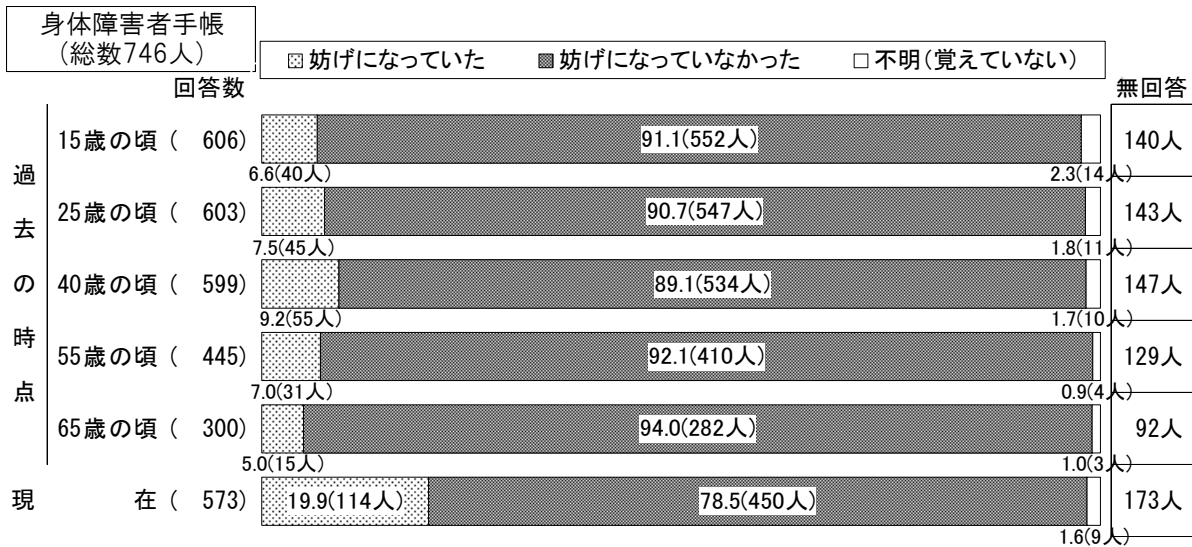


相手の言っていること、書かれていることを理解するのに苦労する

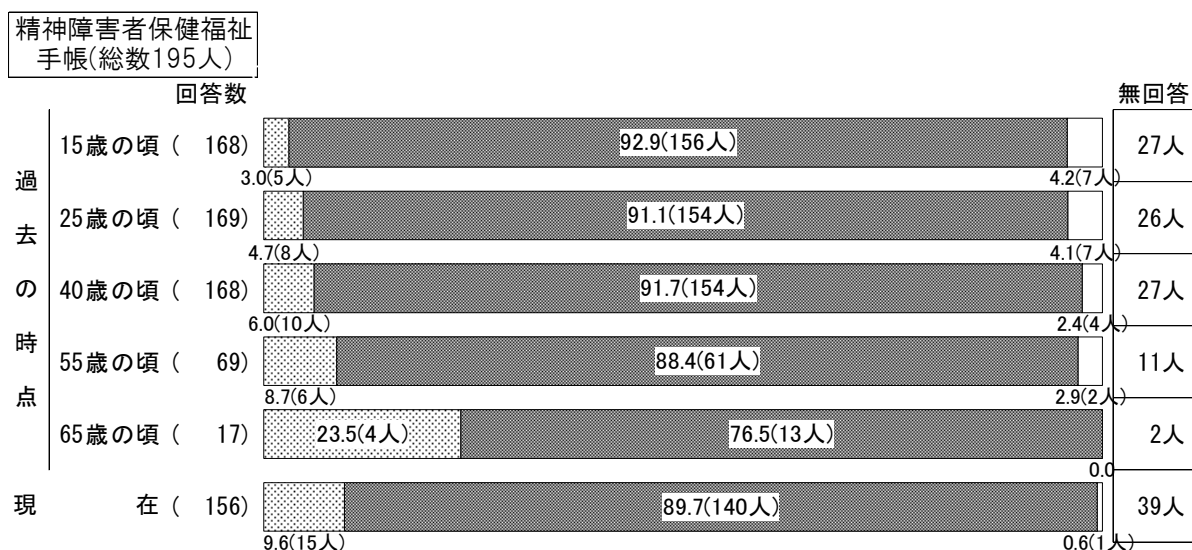
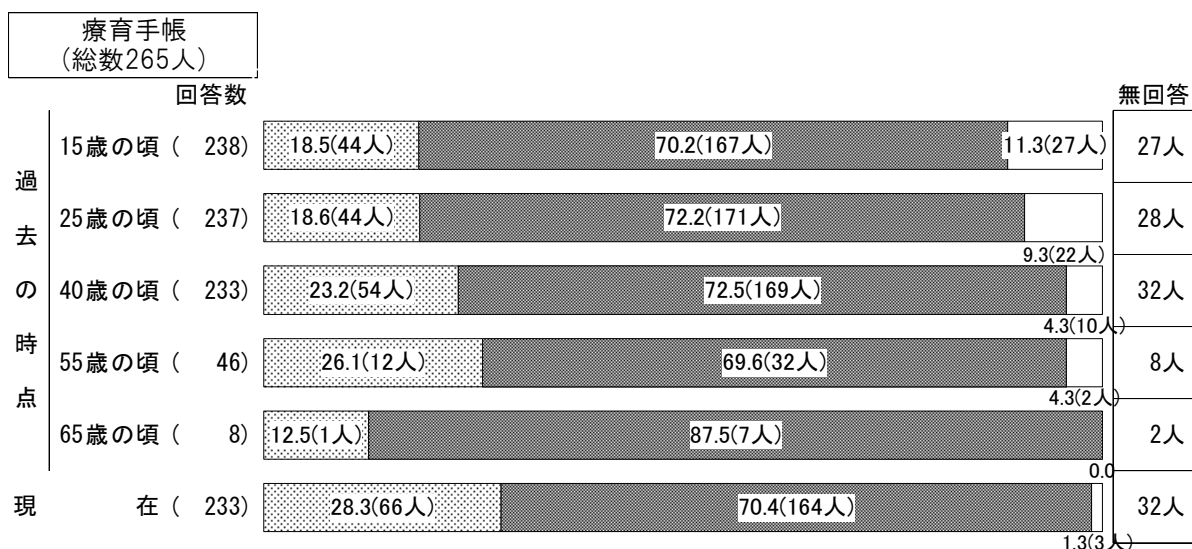
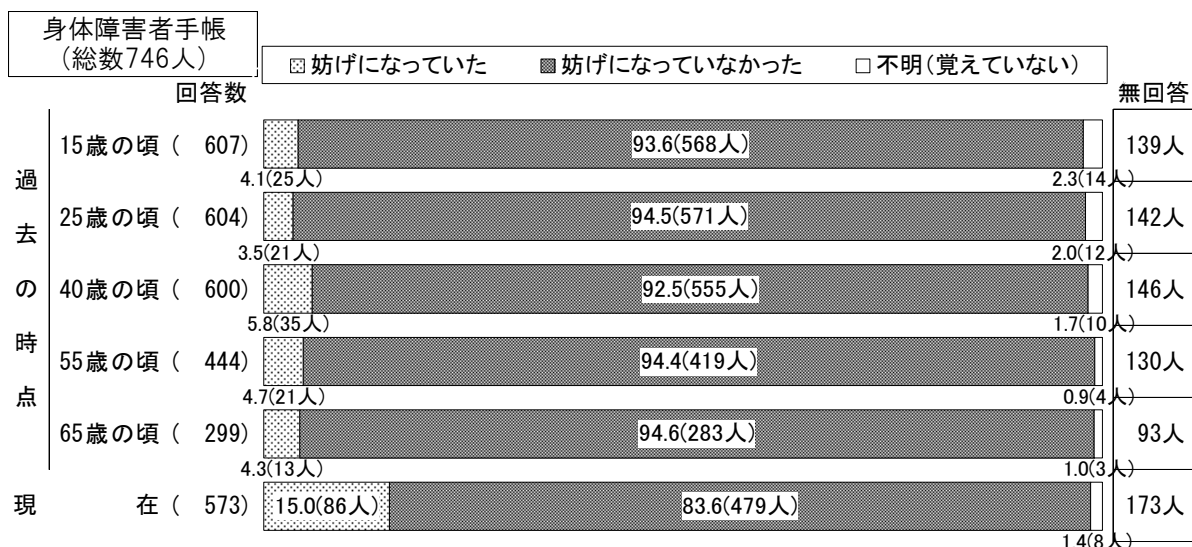
(クロス集計は73ページ)



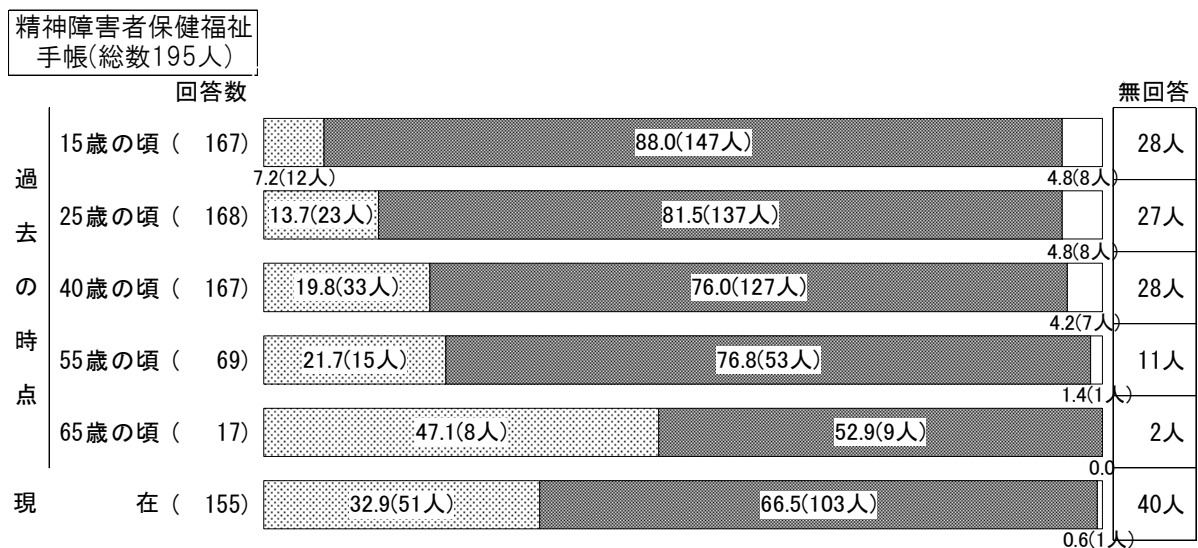
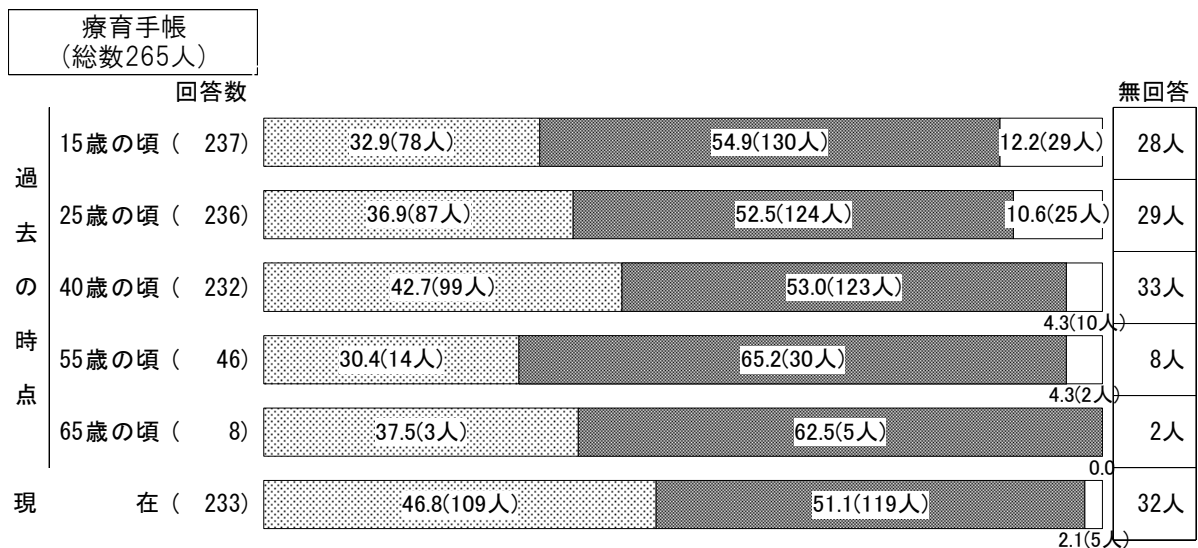
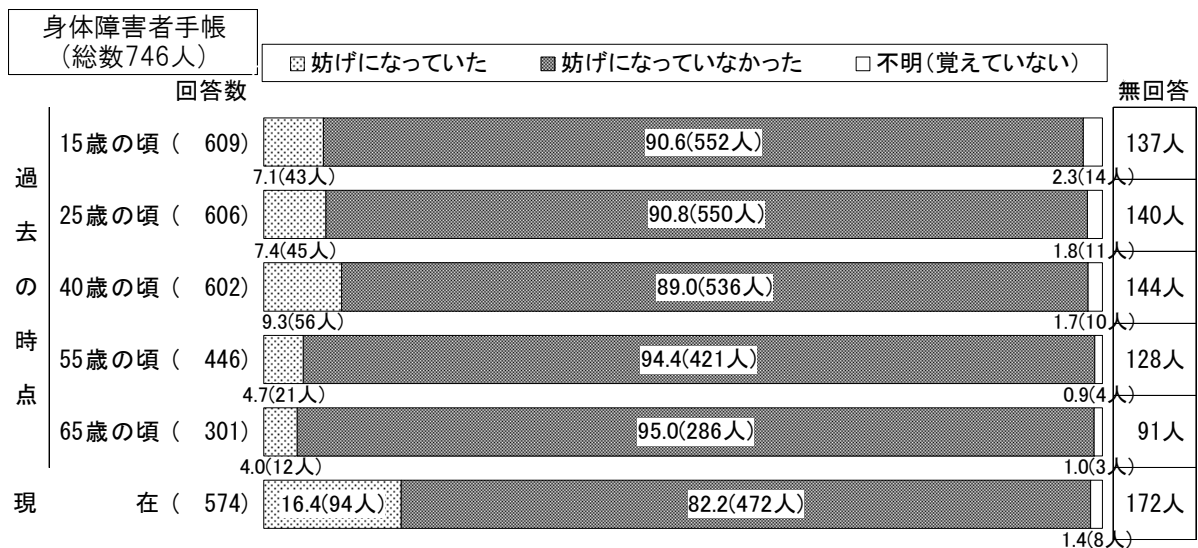
図表 2-4-6 <在宅>道路や駅などの表示が分からない—障害者手帳種別



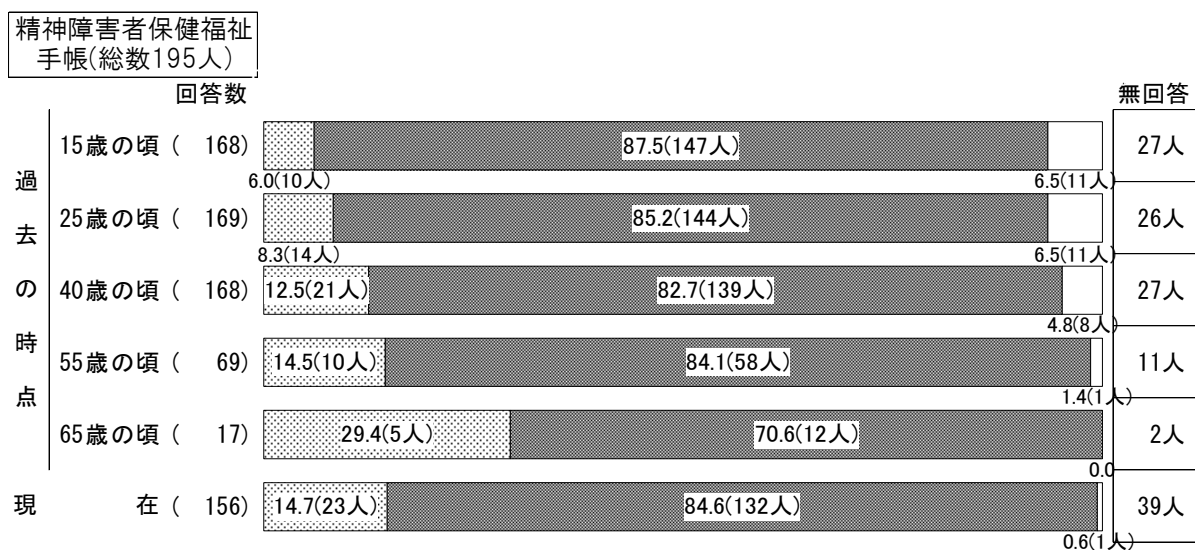
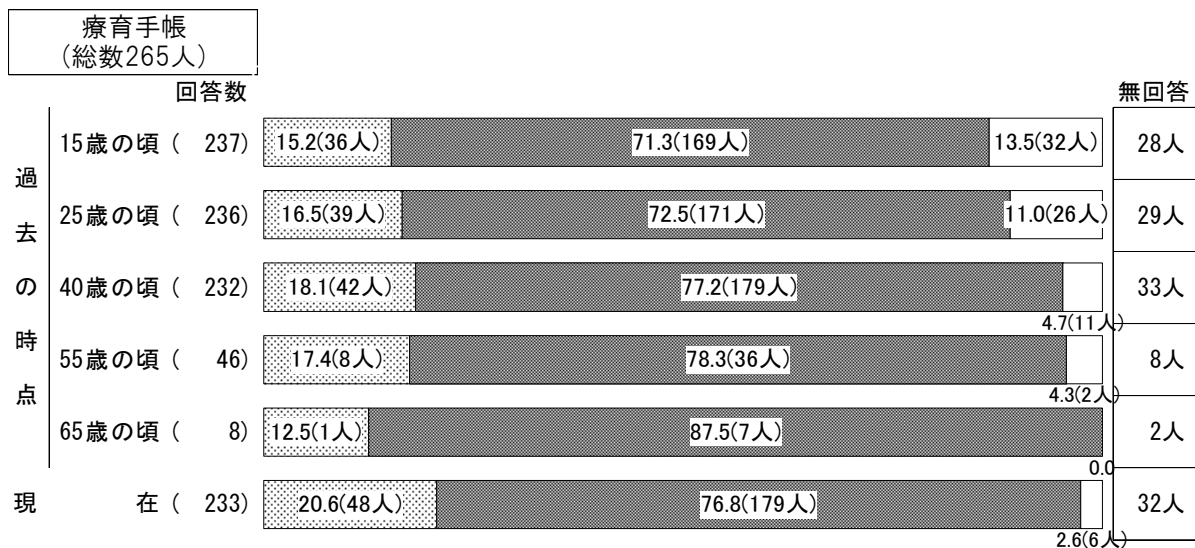
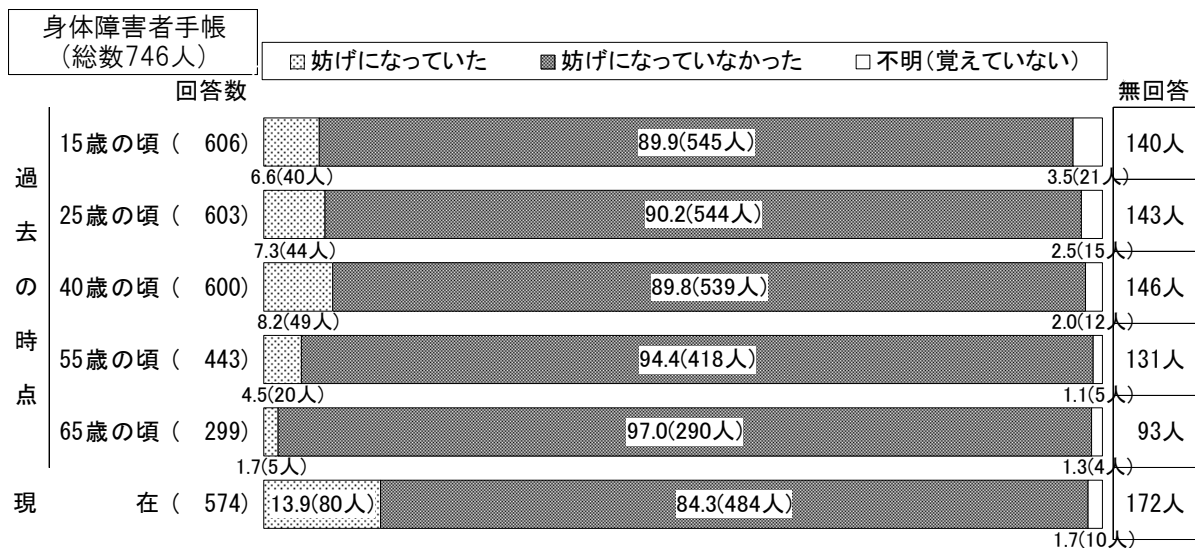
図表2-4-7 <在宅>移動する手段（車、公共交通機関など）がない—障害者手帳種別



図表 2-4-8 <在宅>支援者、障害者以外の友達等がない—障害者手帳種別

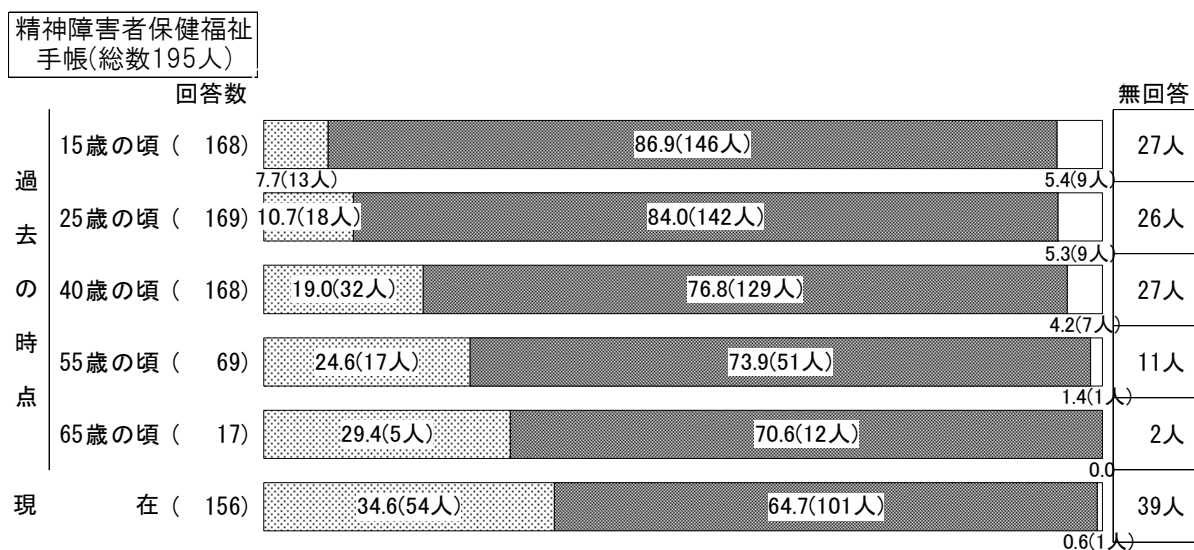
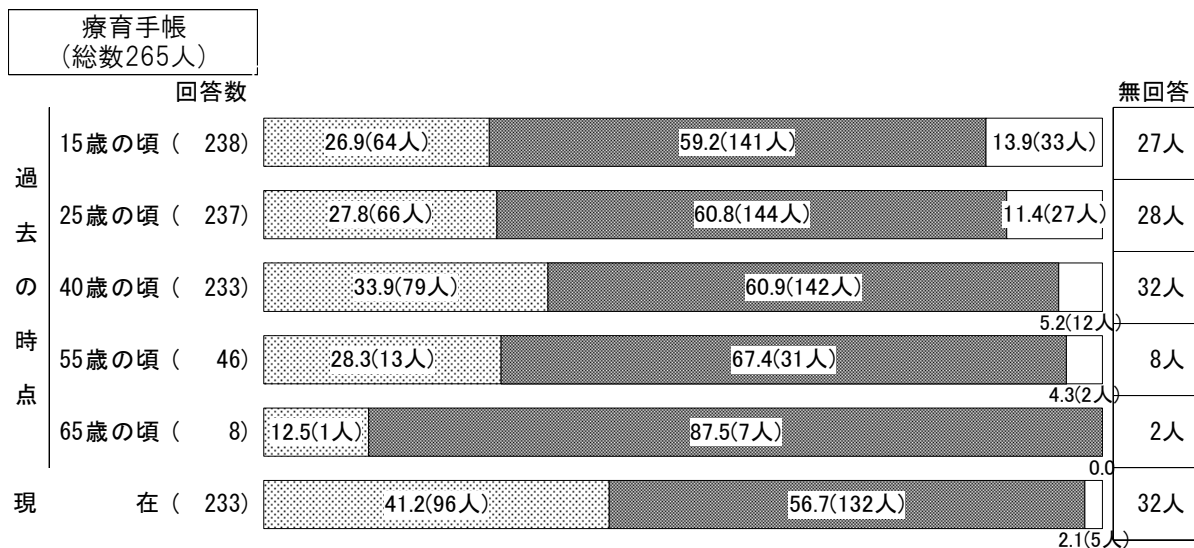
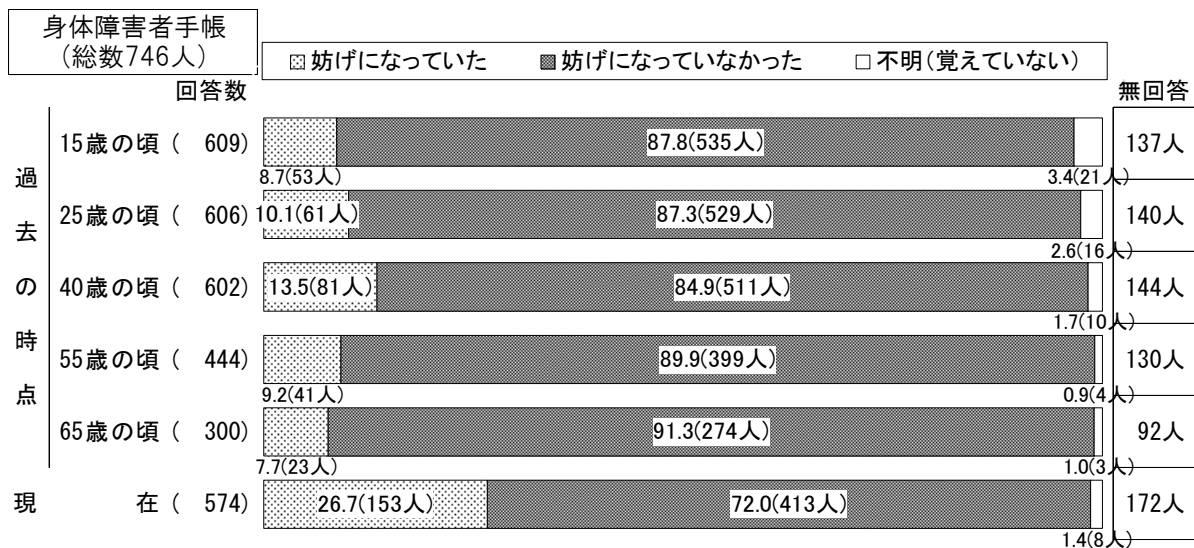


図表 2-4-9 <在宅>身近な情報（回覧板、チラシなど）が入ってこない—障害者手帳種別

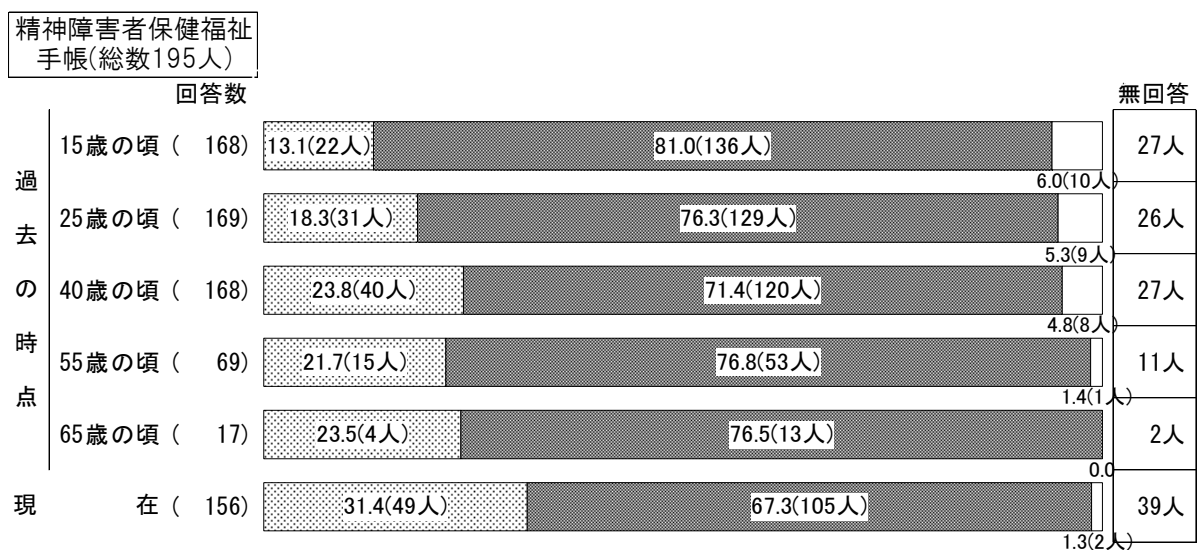
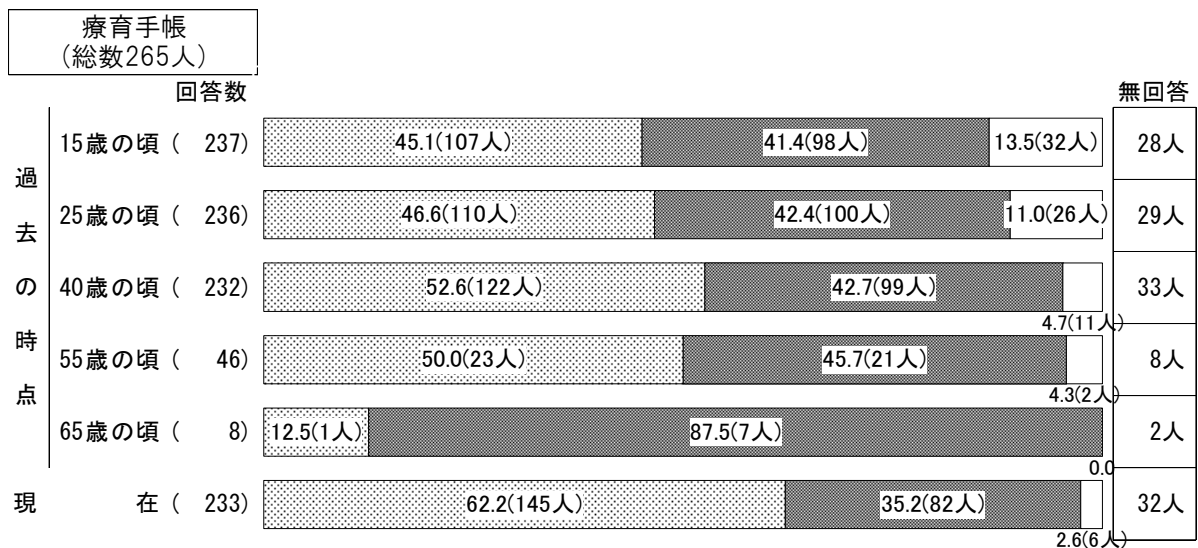
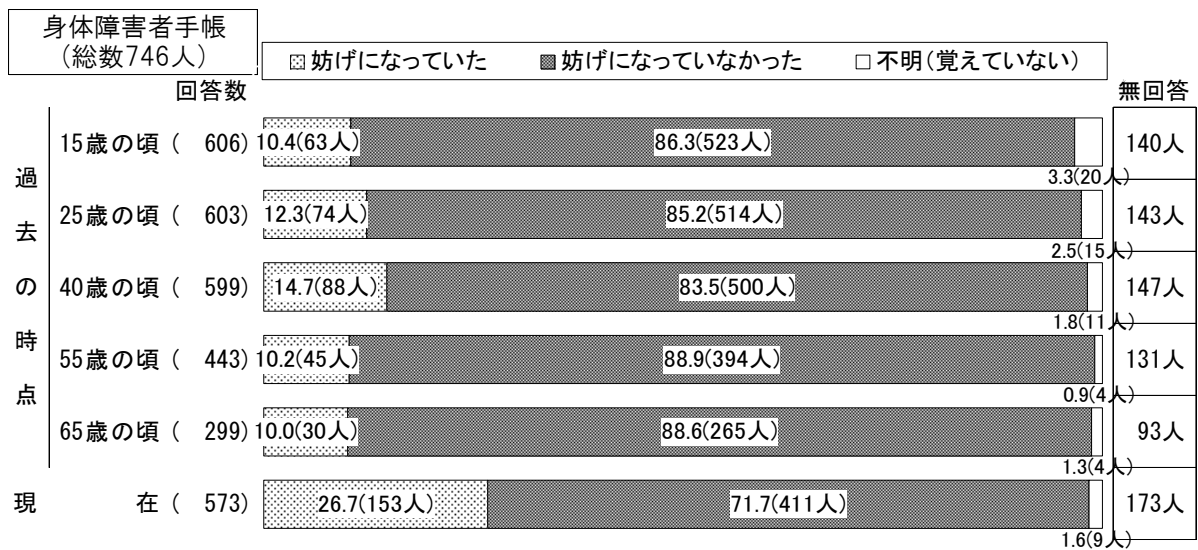


図表2-4-10<在宅>近隣とのコミュニケーションが不足していて、災害時などが不安

— 障害者手帳種別



図表 2-4-11 <在宅>自分の意思を伝えるのに時間がかかる—障害者手帳種別



図表2-4-12<在宅>相手の言っていること、書かれていることを理解するのに苦労する

— 障害者手帳種別

